



履修の手引き

令和6年度 入学生用



家政学部・児童教育学部

Nagoya Women's University

名古屋女子大学



卒業まで使用します。
大切に保管してください。

目次

《 共 通 編 》

I.はじめに	3
II.学生支援センターの場所	3
III.授業について	
1.授業の開講形態	4
2.授業時間割	4
3.授業・試験時間	4
4.授業科目の種類	4
5.休講	5
6.補講	5
7.出席確認	6
8.欠席・遅刻・早退	7
9.オフィスアワー	7
10.ポータルサイト	7
IV.履修について	
1.単位制度	8
2.卒業要件	8
3.履修登録単位数の上限設定(CAP制)	9
4.履修登録と手順	10
5.履修登録の留意点	11
6.特別履修届の提出について	11
7.免許・資格の申請、取り消しについて	11
8.履修登録時のチェックシート	12
9.シラバスの見方	13
10.教育課程	14
11.『カリキュラムマップ』と『カリキュラムツリー』	14
12.科目ナンバリングについて	15
13.単位互換制度	16
14.海外留学	16
V.試験について	
1.試験の種類と方法	17
2.期末試験	17
3.追試験	17
4.やむを得ない理由を証明する書類	17
5.再試験	17
6.追試験・再試験手続一覧	18
7.受験資格	18
8.受験時の諸注意(期末試験、追・再試験)	18
9.追試験・再試験の手続きの流れ	20
VI.成績評価について	
1.成績の評価・単位の認定	21
2.成績の通知	21
3.成績の問い合わせ	21
4.GPAについて	21

VII. 規程	22
VIII. 教務関係の用語集	22

《 学 部 別 編 》

家政学部

1.ディプロマポリシー(学位授与の方針)	23
2.カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)	24
3.教育課程		
全学共通科目	26
生活環境学科	27
(1) 教育目的について	27
(2) 授業科目について	27
(3) 教育課程について	28
(4) 資格について	30
① 建築士・インテリアプランナー	30
② テキスタイルアドバイザー	32
③ フードコーディネーター	32
④ フードスペシャリスト	32
⑤ 日商簿記検定	32
⑥ ファイナンシャルプランニング技能士	32
⑦ 情報処理士・上級情報処理士	33
⑧ ITパスポート	33
⑨ ホームページ作成検定	33
カリキュラムマップ、カリキュラムツリー	34
教育の基礎的理解に関する科目等・各教科の指導法	40
カリキュラムマップ、カリキュラムツリー	41
4.免許・資格		
教員免許状	43
中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校教諭一種免許状(家庭)	46

児童教育学部

1.ディプロマポリシー(学位授与の方針)	48
2.カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)	49
3.教育課程		
全学共通科目	51
児童教育学科	52
(1)教育目的について	52
(2)授業科目について	52
(3)教育課程について	53
カリキュラムマップ、カリキュラムツリー	56
4.免許・資格		
(1)教員免許状	62
中学校教諭一種免許状(国語)	65
小学校教諭一種免許状	67
幼稚園教諭一種免許状	69
(2)保育士資格	72

I.はじめに

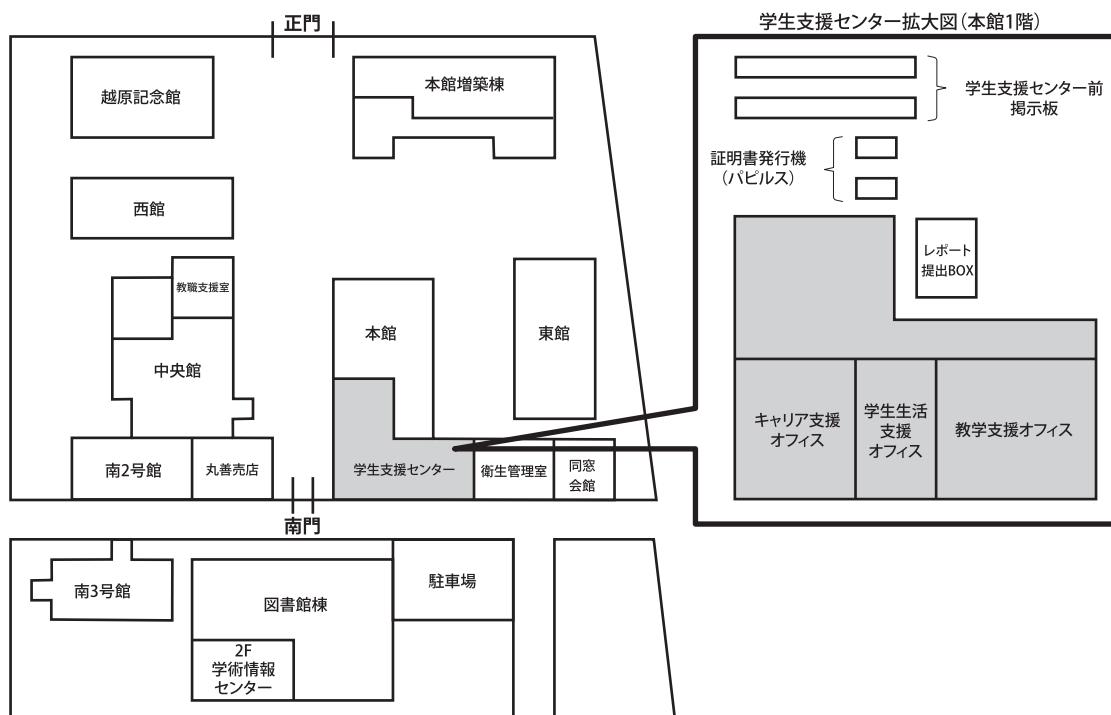
大学の勉学には、これまでの小学校、中学校、高等学校の勉学の仕方と、大きく異なる点があります。それは、何に対しても、指示を待つのではなく、自分から学ぼうとする姿勢を持たなければならないということです。その際にこの『履修の手引き』が大きな役割を果たします。卒業するまで必要に応じて活用し、単位数が不足して卒業できないということのないよう十分注意してください。

《共通編》は、授業・履修・試験などの説明です。大学では単位制が採用され、卒業に必要な単位数が決められています。単位を修得するためには「履修登録」をしたうえで、授業に出席しなければなりません。履修登録には期日が決められている上、履修計画を立ててから手続きをする必要があります。この手引きをよく読んで、提出期限に遅れたり、手続き方法を間違えたりしないよう十分注意してください。提出が遅れると授業が受けられません。そのほか、授業時間、試験や成績のことについても書かれていますので、必ず熟読してください。

《学部別編》には、教育課程(カリキュラム)が掲載されています。どの授業科目を履修するかを決めるときは、「授業計画(シラバス)」とともに活用してください。免許や資格については、《学部別編》の「4.免許・資格」で詳しく説明しています。

学生の皆さんには、この『履修の手引き』を卒業まで大切に保管し、活用するようにしてください。また、不明点がある場合は、指導教員や学生支援センター教学支援オフィスでたずねてください。

II.学生支援センターの場所



III.授業について

1.授業の開講形態

本学で開講される授業の開講形態は次のとおりです。

- 1) 通年開講………1年間にわたって授業が行われます。
- 2) 半期開講………原則として前期あるいは後期の半年間授業が行われます。
- 3) 集中講義………上記の通年または半期開講科目が、教育上特別な理由があると認められる場合、あるいは特別な事情により毎週授業が行えない場合、夏期及び冬期の休業期間中またはその前後に短期間で集中的に授業が行われます。

2.授業時間割

ポータルサイトで確認ができます。また、学生支援センター前ホール掲示板にも掲示します。(事情により授業時間割・教室を変更したときも、ポータルサイト(教務掲示一覧)と掲示板でお知らせします。)

授業等の日程は、学事カレンダーとしてポータルサイトと大学ホームページに掲載しています。

ポータルサイト:TOP>年間予定>学事カレンダー

大学ホームページ:HOME>在学生の方へ>年間スケジュール

3.授業・試験時間

本学の授業及び試験の時間は次のとおりです。

1・2限	9:00～10:30
3・4限	10:40～12:10
5・6限	13:00～14:30
7・8限	14:40～16:10
9・10限	16:20～17:50

1・2・3限	9:00～11:20
2・3・4限	9:50～12:10
5・6・7限	13:00～15:20
7・8・9限	14:40～17:00

大学の授業時間は、通常45分を「1時間」の授業とみなし、「2時間」(=90分)の授業が基本となります。

4.授業科目の種類

授業科目は、その内容、形態により講義、演習、実験・実習及び実技のいずれかの種類に分けられ、それぞれ1単位当たりの学修に必要な時間数(単位計算基準)が次のように定められています。

講義科目(1単位に必要な授業時間数は15時間)

1単位の場合 (毎週2時間の授業) × 8回…半期科目

2単位の場合 (毎週2時間の授業) × 15回…半期科目

4単位の場合 (毎週2時間の授業) × 30回…通年科目

演習科目(1単位に必要な授業時間数は30時間)

1単位の場合 (毎週2時間の授業) × 15回…半期科目

2単位の場合 (毎週2時間の授業) × 30回…通年科目

実験・実習・実技科目(1単位に必要な授業時間数は45時間。ただし、全学共通科目<体育・健康科目>の

スポーツ1、2に必要な授業時間数は30時間)

1単位の場合 (毎週3時間の授業) × 15回…半期科目

2単位の場合 (毎週3時間の授業) × 30回…通年科目

各科目の授業形態、単位数、授業時間数(週時間数)は、各学科の「教育課程」の表を参照してください。

5.休講

本学の行事あるいは授業担当教員のやむを得ない理由により、授業を休講にすることがあります。

- 1) あらかじめわかっている休講は、学生支援センター前ホール掲示板に掲示およびポータルサイトから連絡します。
- 2) 休講掲示やポータルサイトからの連絡がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当教員が現れない場合は、学生支援センター教学支援オフィスに連絡して、指示を受けてください。
- 3) 地震、台風等の災害や交通機関のストライキにより運行が中止された場合の授業、試験は次のとおり取り扱います。

災害及び交通機関ストライキに係る発表・発令等		発表・発令等の時間	本学の講ずる措置
「南海トラフ地震臨時情報」の発表	「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表された場合	発表時	発表以降、大学から授業、試験再開の連絡があるまで休講
	南海トラフ地震臨時情報の「調査中」、「調査終了」、「巨大地震注意」が発表された場合であっても、平常通り授業、試験を実施します。		
「特別警報」または「暴風警報」の発令	名古屋市に発令された場合	午前6時現在 発令されている場合	午前中休講
		午前10時現在 発令されている場合	全日休講
交通ストライキ	名古屋市営の交通機関、名鉄、JRのいずれか一つの交通機関が交通ストライキを行った場合(その他の交通機関は平常通り授業、試験を実施する)	午前6時現在 ストが継続している場合	午前中休講
		午前10時現在 ストが継続している場合	全日休講
上記以外の場合において、授業、試験を実施することが困難であると予想されるときは、本学の防災本部、防災対策委員会の指示により休講措置等の判断を行います。			

次の場合は、上の表に準じて取り扱います。(授業、試験は実施されますが、出校できなかつた場合は、学生支援センター教学支援オフィスで必要な手続きをすることにより欠席にはなりません。)

- ①名古屋市以外の居住者の居住区域、通学経路に「特別警報」または「暴風警報」が発令された場合
- ②災害等により、交通機関が不通になった場合
- ③上の表以外の交通機関がストライキを行った場合

※上記①～③により受験できなかつた期末試験科目については、学生支援センター教学支援オフィスで所定の手続きをすれば、追試験を受験できます。

6.補講

休講のため規定の授業時間数に満たない場合には補講が行われます。

補講は次のいずれかの方法で行います。

- 1) 指定された土曜日に実施します。補講日として指定された土曜日は、ポータルサイトの年間予定タブに掲載されている「学事カレンダー」で確認してください。

- 2) 授業期間中の空き時間に行います。
- 3) その他教員の指示がある場合には、それに従ってください。

補講の連絡は、学生支援センター前ホール掲示板に掲示し、ポータルサイトから連絡します。

※ポータルサイトを利用して、授業時間割確認及び休講・補講・教室変更情報等を参照できます。メッセージ転送設定をすると登録されたアドレスに休講や補講等の情報が配信されます。使用方法は、「ポータルサイト操作マニュアル」を参照してください。

<ポータルサイト操作マニュアルへのアクセス>



ポータルサイト:TOP (HOME) > ポータルサイトの使い方

URL:https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/portal/pdf/manual/portal_manual.pdf

7.出席確認

講義室には出入口付近に、出席管理システムと連携した学生証の認証によるカードリーダーを設置しています。カードリーダーが設置されている教室では、学生証をかざして出席の認証を行ってください。

学生証の認証のために登録が必要です。入学時のオリエンテーション等で登録日程を連絡しますので、必ず登録してください。登録日に欠席した場合は、学生支援センター教学支援オフィスへ申し出てください。

学生証で出席の認証をした場合、出席状況を出席管理システムで確認できます。出席管理システムでは、出席状況の確認や欠席届を提出することができます。

出席管理システムと学生証による認証方法については、以下のマニュアルを確認してください。

<出席管理システムへのアクセス>



ポータルサイト:TOP (HOME) > 学内リンク > 出席管理システム

URL:<https://attendance.cn-management.jp/asp/student/index.php>

<出席管理システムマニュアルへのアクセス>

ポータルサイト:TOP (HOME) > 学内リンク > 出席管理システムマニュアル

URL:[https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/portal/pdf/manual/Attendance_management_manual\(S\).pdf](https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/portal/pdf/manual/Attendance_management_manual(S).pdf)



<出席管理システム(よくある質問)へのアクセス>



ポータルサイト:TOP (HOME) > 学内リンク > 出席管理システム(よくある質問)

URL:[https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/portal/pdf/manual/Attendance_management_manual\(SQ&A\).pdf](https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/portal/pdf/manual/Attendance_management_manual(SQ&A).pdf)

<学生証による認証方法(動画)へのアクセス>



URL:<https://cn-solution.jp/movie/>

◆学生証の認証による出席の確認は、授業開始9分前から可能です。

◆学生証を忘れた場合、または学生証の認証が正しくされなかった場合、授業開始前に授業担当教員に申し出てください。

◆学生証が登録されていない場合、カードリーダーにかざすと「登録がありません」とメッセージが流れます。

◆学生証による認証の反応が悪い場合は、再登録が可能です。学生支援センター教学支援オフィスへ申し出てください。また、学生証を再発行した場合は、再度登録が必要です。

◆機器の不調や故障の場合は、学生支援センター教学支援オフィスへ連絡してください。

8.欠席・遅刻・早退

- 1) やむを得ない理由(試験欠席の理由に準ずる P.17参照)で授業を欠席する場合は、「欠席届」を授業担当教員に提出してください。「欠席届」は、出席管理システムを利用している授業の場合は、出席管理システムから提出できます。その他の授業の場合は、学生支援センター教学支援オフィスで配布している用紙に記入して、提出してください。
- 2) 授業の遅刻・早退に関する取り扱いは、次のとおりです。
 - ①授業開始時間に遅れた者は、遅刻として取り扱います。
 - ②授業終了まで受講していない者は、早退として取り扱います。
 - ③遅刻及び早退は、計3回をもって欠席1回とみなします。
 - ④1回の授業時間の3分の1以上(講義・演習科目は30分以上、実験・実習科目は45分以上)の遅刻及び早退は欠席として取り扱います。

9.オフィスアワー

教員は学生からの様々な質問に応じるための時間「オフィスアワー」を設けています。「オフィスアワー」の時間帯には教員が研究室に在室し、授業内容やその他学修に関する様々な相談を受け付けています。各教員のオフィスアワーの設定時間は、教員によって異なりますので、オフィスアワー一覧表で確認してください。学生ポータルサイトの「オフィスアワー」からも確認できます。各教員の研究室の場所も記載されています。

<オフィスアワー一覧表へのアクセス>



ポータルサイト:TOP (HOME) > My時間割 > オフィスアワー
 URL: https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/office_hour/office_hour.pdf

10.ポータルサイト

ポータルサイトとは、大学からのお知らせや履修登録、成績発表など大学生活を送るうえで必要な様々な機能が集約されたサイトです。手続きなどの重要なお知らせを見落とさないよう、気を付けてください。履修登録漏れ、試験などに係る申請不備による不利益はすべて自己責任となりますので、ポータルサイトからの配信はこまめにチェックしましょう。

<ポータルサイトへのアクセス>



大学Webサイト>在校生の方へ>ポータルサイト
 URL: <https://portal.nagoya-wu.ac.jp/campusweb/top.do>

<ポータルサイト操作マニュアルへのアクセス>

ポータルサイト:TOP (HOME) > ポータルサイトの使い方
 URL: https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/portal/pdf/manual/portal_manual.pdf



IV.履修について

1.単位制度

大学の授業科目の履修には、大学設置基準に基づく単位制を採用しています。

- 1) 単位制とは、各年次に配当されている授業科目を履修して、その授業科目に定められている単位を修得(所定の試験に合格)し、これらの単位を一定数蓄積することにより卒業(あるいは各種免許・資格が取得)できる制度をいいます。
- 2) 単位とは、一つの授業科目の修得に必要な時間を示す基準であり、試験(筆記、レポート等)に合格することにより、その授業科目の単位の修得が認められます。1単位を修得するには、授業時間と授業時間外に必要な学修等をあわせて45時間の学修時間を必要とします。

2.卒業要件

大学を卒業するためには、4年以上在学し、学科ごとに定める教育課程に従って授業科目を履修し、下表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

卒業に必要な単位数 ※括弧内の数字は、必修科目的単位数(内数)

【家政学部】

学科	全学共通科目		学科 専門科目	自由 選択科目	合計
	人間形成科目 一般教育科目 芸術科目 情報・表現科目 体育・健康科目	外国語科目			
生活環境学科	21(3)以上	8(4)以上	75(22)以上	20以上	124(29)以上

【児童教育学部】

学科	全学共通科目			学科 専門科目	自由 選択科目	合計
	人間形成科目 一般教育科目 芸術科目	外国語科目 情報・表現科目	体育・健康科目			
児童教育学科	9(3)以上	10(8)以上	1以上	80(5)以上	29以上	129(16)以上

自由選択科目

科目区分の制限はありません。各科目区分で定められた卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数で充足されます。

単位互換科目

単位互換制度を利用して取得した単位は、「自由選択科目」に算入されます。詳しくはP.16「13.単位互換制度」を確認してください。

3.履修登録単位数の上限設定(CAP制)

各学期・年間の履修登録をする際に、履修登録単位数の上限を設定しています。履修登録単位数の上限を設定することをCAP制といいます。

履修登録単位数の上限設定により、多くの科目を広く浅く学修するのではなく、学修すべき授業の単位制度が実質化(1単位を修得するにあたって必要な学修時間45時間を確保)され、各年次にわたって適切に授業科目を履修でき、授業内容を深く身に付けられるようになります。

1) 上限単位数から除外する科目等

- ①入学前の既修得単位、大学、短大以外の教育施設等における学修により認定された科目の単位
- ②全学共通科目：「建学のこころ」
- 2) 集中講義科目、愛知学長懇話会における単位互換科目及び名古屋女子大学短期大学部単位互換科目は当該開講学期に含めます。
- 3) 学長が特に必要と認めた学生は、上限単位数を超えて履修登録を認めることができます。この場合の単位数は教授会で決定します。
- 4) 通年開講科目の単位は、前期・後期に等分して、各学期に配分します。

なお、年間で上限単位を定めている場合の、前期、後期ごとの履修登録単位数の配分については弾力的に扱います。学科の履修指導に従ってください。

学部	学科	履修登録の上限単位数								その他上限単位数から除外する科目	
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
家政学部	生活環境学科	26	23	23	23	24	17	17	13	「異文化コミュニケーション」、教職に関する科目	
児童教育学部	児童教育学科	49		49		49		49		「卒業論文」、海外研修及びボランティア活動に関する科目、学外実習・介護等体験に関する科目(実習指導除く)	

4.履修登録と手順

具体的な日程は、オリエンテーションで配布する「Web履修登録日程表」を参照してください。

オリエンテーション

- ・新入生オリエンテーション、在学生オリエンテーションで履修登録の説明を聞きます。

履修計画

- ・「履修の手引き」や「シラバス」、「時間割表」を参照し、必修科目や資格取得に必要な科目を確認して、1年間の履修計画を立てます。
- ・1年間に履修できる単位数には上限があります。(履修の手引きP.9参照)
- ・科目によって、履修するための条件(前提科目)があります。そのため資格取得に必要な専門科目を全て履修してから、全学共通科目の履修を計画しましょう。

Web履修登録

- ・履修計画をもとに、ポータルサイトで履修登録を行います。前期に後期科目の履修登録も行います。
- ・ポータルサイトで履修登録できない科目は、学生支援センター教学支援オフィスで「特別履修届」を受け取り、記入して提出します。
- ・履修登録期間は、受講する科目を検討する期間です。初回の授業から出席してください。
- ・後期の履修登録期間は、後期科目のみ追加・削除が可能です。

資格申請

- ・取得を希望する免許・資格を申請します。
- ・資格申請することで、卒業学年時に資格取得見込判定の確認ができます。

一次抽選

- ・履修者数に人数制限のある科目の抽選を行います。
- ・抽選科目の履修を希望する場合は、一次抽選日までに履修登録を行い、抽選結果を必ず確認してください。抽選結果が決まる前の授業にも出席してください。
- ・後期は、履修者数に余裕がある抽選科目の追加登録(先着順)が可能ですが。(後期は抽選を行いません。)
- ・教科書は当選してから購入してください。

二次抽選

- ・履修者数に余裕がある科目の二次抽選に申し込むことができます。

履修確認

- ・履修計画とWeb履修登録した科目が合っているか、履修登録漏れがないか確認します。
- ・履修登録の修正が必要な場合は、「履修追加登録願」を記入し、指導教員の確認をうけて、学生支援センター教学支援オフィスへ提出します。

履修登録科目の確定

- ・履修登録科目が確定します。

5.履修登録の留意点

- 1) 「履修の手引き」で卒業要件、各種免許・資格に必要な科目、単位を確認して、「授業計画(シラバス)」を熟読して1年間の履修計画を立ててください。
(注)履修登録確定後に授業科目の受講を放棄した場合は、GPAに影響しますので注意してください。
- 2) 授業時間割で履修する科目的曜日・時限を確認し、履修登録しようとする科目が重複しないように注意してください。
- 3) 登録ミス、登録漏れのないように注意してください。
- 4) 定員が設定されている抽選科目は、抽選後に必ずポータルサイトで受講可能か確認してください。
- 5) 履修登録確定後の授業科目の追加・変更及び放棄は原則として認められません。
- 6) 履修者が少ない授業科目は、不開講となることがあります。
- 7) 授業科目については、履修できる学年(配当学年)が決まっています。下級学年に配当されている授業科目は履修できますが、上級学年に配当されている授業科目は履修できません。なお、配当学年において、卒業必修科目を修得できなかった場合、次年度以降の該当科目の履修登録については、学生支援センター教学支援オフィスでの手続きが必要となります。

6.特別履修届の提出について

以下に該当する場合は、「特別履修届」を学生支援センター教学支援オフィスへ提出する必要があります。
「特別履修届」は、学生支援センター教学支援オフィスにあります。

- 1) 全学共通科目[必修科目]を他学科で下級履修する場合
- 2) 全学共通科目(外国語科目)を他学科で履修(あるいは下級履修)する場合、専門科目を他クラスで履修(あるいは下級履修)する場合
- 3) 読替を要する科目を履修する場合

7.免許・資格の申請、取り消しについて

免許・資格申請の登録は、履修登録期間中にポータルサイトの「資格申請・取消」から必ず行ってください。
また、卒業学年の後期履修登録期間に登録済みの免許・資格を取り消す場合は、「免許・資格申請書」を提出してください。申請書は、学生支援センター教学支援オフィスにあります。

8.履修登録時のチェックシート

履修登録および資格申請の追加・削除は、履修登録期間以外は原則認められません。そのため、履修登録時は、下のチェックシートを活用して、慎重に手続きを行ってください。

項目	内容	チェック欄			
		1年次	2年次	3年次	4年次
		前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期
① 履修計画	現在の単位修得状況、卒業要件、資格要件を確認して、1年間の履修計画を立てましたか? (後期では、前期成績を確認して計画の見直しをしましたか?) ※履修できる単位数には上限があります。(P.9参照)	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
② 履修登録、 免許・資格 申請	専門科目の選択科目は登録しましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	集中講義(実習関連・卒業研究などを含む)は登録しましたか? ※特に、後期の集中講義科目は履修登録忘れが起きやすいです。	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	全学共通科目および教職科目は登録しましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	希望する免許・資格の申請登録はしましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	【該当者のみ】進級・卒業および資格取得の見込判定結果を確認しましたか? ※判定が「可」にならないと、見込証明書の発行はできません。	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
③ 申請内容 確認	【該当者のみ】前年度単位修得できなかった科目などWeb履修登録ができなかった科目は、学生支援センター教学支援オフィスで申請しましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	Web履修登録完了後、ポータルサイトに「履修登録受付完了」メッセージが届きましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	抽選科目の結果(当落)を確認しましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	履修登録修正期間に、ポータルサイトの「My時間割」で申請内容が反映されているか確認しましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	【該当者のみ】履修登録修正期間に「履修追加登録願」を提出した場合、後日「My時間割」に申請内容が反映されていることを確認しましたか?	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓

9.シラバスの見方

シラバスはポータルサイトからアクセスできます。授業を選択する時には、シラバスを熟読してください。

シラバス参照	
<input type="button" value="◀ 検索結果一覧へ戻る"/> <input type="button" value="▶ お気に入りに追加する"/>	
科目名	建学のこころ
講義コード	
担当者	越原 もるる
学年	1年
対象学科・専攻	
クラス	
単位数	1
開講時期	前期
授業形態	講義
備考	
授業の目的と概要	UAO 000 L 101 Z (1)本学創設者の生前に接する越原学舎で学ぶことにより、学園精神(親切)の意義と「建学の精神」を理解し、本学の教育理念・目的について認識を深めます。 (2)共同生活を通して自己啓発とともに、豊かな感性と柔軟な思考力を養い、4年間の学習の目標を立て、その設計を確かなものとする。
授業の到達目標	DP1と2 ・本学創立の歴史や時代背景を理解し、学園精神(親切)の意味を深く考え、創立者の現代社会を生きる学生へのメッセージを読み取ることができる。 ・共同生活を通して自己啓発に努め、豊かな感性と柔軟な思考力を養い、大学4年間の学習の目標を立てることができます。
授業計画概要	1.学長講義 本学創設者の生前にて、各種の資料を活用しながら、「親切」を学園精神として本学園を創立するに至った創設者越前春子先生の足跡を学び、女性の生き方について考えるとともに、学生各自のこれからの大手の在り方を考える。 2.学科別講義・学習 テキストと『美濃少女(みのるせう)』等を読み、建学の精神を学ぶとともに、越原研修について、春子先生の足跡を辿り、その遺徳をさかぶ。 3.「大学で学ぶということ」を読み、大学生としての学習や生活について自覚すると共に、その意味を学ぶ。
授業計画	第1回 学長講義と学科別講義および学習
学修上の留意事項	新入生オリエンテーションから「建学のこころ」は始まるので、学園の信条や健康栄養学科の目的などを充分に理解する。越原研修会員や越原(あはら)研修への準備段階でも主導的で積極的に参加が奨励される。また、越原学舎では共同生活を重く視めるとともに、自己規律の育成に努めること。コロナウィルス感染予防対策のため、授業内容が変更した時は、指導教員の指示に従って学習する。
授業外学修の指示	事前に『美濃少女(みのるせう)』等を熟読し、越原記念館展示室を観覧しておくこと。 越原(あはら)研修の事前に『大学で学ぶということ』を読み廻しておくこと。 『もえのまる』を事前に読み、事前はその小手作成などにより合計180分×7.50の予習・復習が必要です。』
学修ポートフォリオ	学修ポートフォリオおよび牧職「履修カルテ」の対象科目ではありません。
成績評価基準	DP2と3に基づく成績評価はオリエンテーション参加や研修参加に対する積極性や自発性、協調性、責任感などについて評価する(準備における参加度20%、研修における参加度40%)。 さらにポートフォリオ(40%)により合計100点として評価する。 SABCDの評価は大学の成績評価基準に従う。評価の詳細は添付されているルーブリックを参照する。
テキスト	
参考資料ファイル	R5年建学のこころループリック.pdf
担当者の実務経験	なし
参考図書	

→ 印刷

基本情報

科目名、授業担当教員、対象学科、学年、単位数、開講時期など

授業の目的と概要

科目ナンバリングと授業の教育目標を確認できます。

授業の到達目標

授業終了時に身につく能力、何ができるようになるかを確認できます。またディプロマポリシーとの関連を確認できます。

授業計画

各回の授業内容を確認できます。授業担当者が複数人の場合、授業回ごとの担当教員が記載されています。

学修上の留意事項

授業を履修するうえで必要な取り組みと、条件(前提科目)を確認できます。

授業外学修の指示

授業以外に必要な予習・復習の学修内容と時間が記載されています。

成績評価基準

成績評価の基準と割合が記載されています。

テキストと参考図書

- ・テキスト:授業で使用する教科書です。購入してください。
- ・参考図書:授業に関連する参考資料です。図書館に所蔵されています。

10.教育課程

教育課程(カリキュラム)は、全学共通科目と学科専門科目に分けて編成されています。そして、それぞれに修得しなければならない最低単位数が定められています。また、各授業科目の区分には必修科目と選択科目および選択必修科目があり、体系的に修得するように各年次に配当されています。授業科目を選択する場合は、系統図(カリキュラムツリー)をよく見て考えてください。例えば、科目間の矢印や、1や2と番号が振られている科目を2から先に選択すること、また、講義の前に演習や実習を選択することは避けてください。

必修科目

教育課程のうち、必ず単位を修得しなければならない科目

選択科目

教育課程のうち、自由に選択して単位を修得することができる科目

選択必修科目

教育課程のうち、特定の科目の中から一定の単位を必ず修得しなければならない科目。

- 上記のほか各種免許・資格に関する授業科目が開設されています。これらは、卒業の要件に含まれない科目もありますが、いずれもその免許・資格を取得する上で必要な科目です。

11.『カリキュラムマップ』と『カリキュラムツリー』

カリキュラムマップとカリキュラムツリーは、身につけてほしい知識・能力と授業科目との対応関係を体系的にわかりやすく示したものです。詳しくは《学部別編》で確認してください。

カリキュラムマップ

ディプロマポリシー(学位授与の方針)と授業科目の関係を示したものです。

卒業時に学科のディプロマポリシーの達成目標に到達するため、授業科目と学修成果の関係を説明しています。授業科目によって育成する能力が異なるため、伸ばしたい能力など必要に応じて科目選択の参考にしてください。

カリキュラムツリー

到達目標を達成するために、授業科目間の系統性や関連性、配当年次を示しています。

履修の際には、左側にある科目から履修することが前提となりますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。

12.科目ナンバリングについて

科目ナンバリングは、学修の段階や順序等を数字で表示することにより、教育課程の体系をわかりやすくし、履修登録時の目安とするために設定しています。科目ナンバリングのコードは、以下の構成となっています。

例) 大学全学共通科目「日本国憲法」の場合

UA0 0 32 L 2 06 L - N2T1T3T4T5T6T7

(1)と(2)の間の「0」は予備コードです。

①学部・学科コード(アルファベット3文字) ※専攻コードがない場合は、末尾が0になります。

大学

学部・学科	コード	学部・学科	コード	学部・学科	コード
大学全学共通科目	UA0	健康科学部学科間連携科目	HB0	医療科学部学科間共通科目	MB0
家政学部生活環境学科	EE0	健康科学部健康栄養学科	HH0	理学療法学科	MPO
家政学部教職課程	ET0	健康科学部看護学科	HN0	作業療法学科	MO0
		健康科学部教職課程	HT0	児童教育学部児童教育学科	CC0

学部・学科	コード	学部・学科	コード	学部・学科	コード
短大 全学共通科目	CA0	生活学科	AL0	保育学科第一部・第三部	EC0

②分野コード(数字2文字)

図書館の分類表と同じ分類(日本十進分類法の2次区分表)を使用し、科目の分野を表現しています。

③授業形態(アルファベット1文字)

授業形態	コード								
講義	L	演習	E	実験	M	実習	T	実技	P

④科目分類(数字またはアルファベット1文字)

各学科の教育課程の科目分類ごとに区分しています。全学共通科目は数字1文字、専門科目はアルファベット1文字です。

⑤授業識別番号(数字2文字)

科目分類と合わせて、授業を識別するための個別コードです。

⑥レベル(アルファベット1文字)

レベル	コード	レベル	コード	レベル	コード	レベル	コード
基礎的な内容	L	発展的な内容	M	卒論・実習系	H	その他	Z

⑦資格コード(アルファベットと数字で2文字)

資格取得に関係する科目には、資格コードが付与されています。

資格名称	コード	資格名称	コード	資格名称	コード
一級建築士受験資格	A1	保育士	H1	幼稚園教諭一種免許状	T1
二級建築士・インテリアプランナー受験資格	A2	秘書士	S1	幼稚園教諭二種免許状	T2
テキスタイルアドバイザー	C1	医療秘書実務士	S2	小学校教諭一種免許状	T3
フォーマルスベシャリスト プロンスライセンス	C2	情報処理士	J1	中学校教諭一種免許状(国語)	T4
ドレメ式教員認定	C3	上級情報処理士	J2	中学校教諭一種免許状(家庭)	T5
栄養士免許証	E1	ビジネス実務士	J3	高等学校教諭一種免許状(家庭)	T6
管理栄養士 国家試験受験資格	E2	上級ビジネス実務士	J4	栄養教諭一種免許状	T7
食品衛生監視員及び 管理者任用資格	E3	看護師国家試験受験資格	N1	理学療法士国家試験受験資格	R1
フードコーディネーター	F1	保健師国家試験受験資格	N2	作業療法士国家試験受験資格	R2
フードスペシャリスト	F2	養護教諭二種免許状	N3		

13.単位互換制度

単位互換制度とは大学間の協定に基づき、他の大学または短期大学で履修し修得した単位を在籍する大学の履修で修得したものとみなす制度です。本学では、「名古屋女子大学と名古屋女子大学短期大学部の単位互換に関する協定」並びに、愛知学長懇話会に加盟する大学・短期大学において締結された「単位互換に関する包括協定」に基づく制度があります。

1) 名古屋女子大学短期大学部との単位互換制度

名古屋女子大学短期大学部の一部授業科目について履修及び単位修得が可能です。下記の内容を十分に理解して手続きをしてください。

①名古屋女子大学短期大学部 単位互換科目一覧

授業科目	授業形態	単位数
生活マナー演習	演習	1
薄記演習3	演習	1

②履修対象者

1年生後期から2年生の学生

③単位数の算入

上記単位互換科目は、卒業要件の一覧表の自由選択科目の単位数として算入されます。

④履修登録について

上記科目を履修する際は、「単位互換科目履修願」を学生支援センター教学支援オフィスへ提出する必要があります。手続き期限は以下のとおりです。

前期科目：4月第2木曜日まで

後期科目：9月第2木曜日まで

2) 愛知学長懇話会の単位互換制度

他大学の単位互換向けに開放される科目の履修及び単位修得が可能です。詳しくは、学生支援センター前ホール掲示板と愛知学長懇話会ホームページを確認して手続きしてください。

URL: <https://aichi-gakuchou.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

14.海外留学

留学先で修得した授業科目の単位は60単位を上限として、本学で修得した単位として認められます。単位の認定を希望する場合は、留学前に学科の先生に相談して指導を受けてください。

海外留学については、学生生活の手引き「翔」または、大学ホームページの「留学制度・奨学金制度」を参照してください。海外交流室または学生支援センター学生生活支援オフィスに相談することもできます。

<留学制度・奨学金制度へのアクセス>



大学Webサイト>在校生の方へ>留学制度・奨学金制度

URL: <https://www.nagoya-wu.ac.jp/students/ryugaku.php>

V. 試験について

1. 試験の種類と方法

試験の種類は、「期末試験」「追試験」及び「再試験」があります。

試験は、「筆記」「レポート」「論文」「作品」「実技・実習」等の方法で実施されます。

2. 期末試験

- 1) 期末試験は、前期末に行うものを前期試験、後期末に行うものを後期試験といいます。
- 2) 期末試験は、前期開講科目については前期試験において、後期及び通年開講科目については後期試験において実施します。

3. 追試験

- 1) 追試験は、次の授業科目について、やむを得ない理由で試験を欠席した者に対し、本学が指定する日に行います。
 - ① 試験時間割に掲載された筆記試験を実施した授業科目
 - ② 期末試験に代えて授業担当教員が随時に行う試験で、事前に学生支援センターに追試験期間中に実施する旨の申し出があった授業科目
- 2) レポート、作品等の方法で試験を実施した授業科目は追試験を実施しません。
- 3) 追試験を欠席した者に対し、再度追試験は実施しません。
- 4) 追試験の受験は、欠席理由が「4. やむを得ない理由を証明する書類」の項目に記載されている欠席理由のいずれかに該当し、当該理由を証明するに足る書類の提出が必要です。①から⑦は願い出の受理により追試験の受験が認められますが、⑧は教授会および学長が許可した場合に受験が認められます。

4. やむを得ない理由を証明する書類

	欠席理由	提出書類
①	親族の危篤、死亡	理由を証明する書類または写し
②	不慮の事故または災害	事故等を証明する書類
③	病気または負傷	医療機関発行の診断書
④	公共交通機関の事故または遅延	事故又は遅延証明書
⑤	学則第14条に定める資格を取得するために必要な校外実習	証明書不要
⑥	就職試験(会社訪問は除く)の受験	本学所定の受験証明書
⑦	期末試験受験科目的実施日時の重複	本学所定の試験重複届
⑧	その他①から⑦に準ずるものとして学長が認めたもの	理由を証明する書類

5. 再試験

- 1) 再試験は、学生が期末試験を受験し、不合格となった授業科目について、前期開講科目は前期の再試験期間内において、後期及び通年開講科目については後期の再試験期間内において実施します。
再試験期間は、学事カレンダーで確認できます。なお、試験に代えた授業レポート、作品等の方法で試験を受験し不合格となった授業科目も再試験を実施する場合があります。
- 2) 願い出が遅れた場合は受験資格はありません。
- 3) 再試験を欠席した者に対して、その追試験は実施しません。また、追試験で不合格となった者に対して再試験は実施しません。ただし、卒業年次の学生で、追試験と再試験において、不合格となった授業科目が、必修科目及び免許・資格(教員免許状・栄養士免許証・保育士資格・管理栄養士国家試験、看護師国家試験、保健師国家試験、理学療法士国家試験、作業療法士国家試験の受験資格)の取得要件科目の場合は、前・後期ともに1科目に限り再試験を実施することができます。

- 4) 校外実習(教育実習・臨地実習など)が不合格になった場合の再試験は実施しません。

6.追試験・再試験手続一覧

	追 試 験		再 試 験	追試験・再試験で 不合格科目の再試験 (4年生のみ)
	欠席理由①～⑦	欠席理由⑧		
提出書類	試験欠席届+証明書類+追試験申込書		再試験申込書+ 再試験願出書	再試験申込書+ 再試験願出書
提出期限	指定された期日 (詳細日程は別途連絡)	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡) 追試験申込書は受験 許可後に提出	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡)	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡)
出願科目数	上限なし		上限なし	前・後期それぞれ 1科目
提出先	学生支援センター教学支援オフィス			
受験手数料	1科目につき1,000円 (期末試験科目重複や校外実習による追試験は不要)		1科目につき2,000円	1科目につき2,000円

7.受験資格

次のいずれかに該当する場合は、受験資格がありません。

- 1) 履修登録をしていない授業科目。
- 2) 当該授業科目の規定授業時間数(半期8回、15回、通年30回)の3分の2以上出席していない者。
- 3) 学生証を所持していない者。
- 4) 試験開始後15分以上遅刻した者。
- 5) その他、教授会において受験資格がないと認められた場合。

8.受験時の諸注意(期末試験、追・再試験)

次の受験時の諸注意は必ず守ってください。

〈受験態度〉

受験の際は、終始公正な態度を保ち、少しでも他から疑念をいだかれるような行為をしない。まぎらわしい行為は不正行為とみなされる場合がある。

〈監督者の指示の遵守〉

試験室においては、常に監督者の指示に従う。

指示に従わなかった場合は、退室を命じられる。

〈学生証の提示〉

受験生は、監督者が学生証を確認しやすいように、机上に置く。もし学生証を忘れた場合は、学生支援センターにおいて仮学生証の交付を受ける。

ただし、仮学生証の有効期限は交付日のみとする。なお、交付のつど手数料1,000円が必要となる。

また、学生証を紛失した場合、願い出れば翌日の午前9時には再発行される。(手数料4,400円が必要)

〈不正行為〉

受験の際、万一不正行為があった場合、不正行為者の当該試験科目の評価は失格となる。また、不正行為のあった学期において既に実施済の科目および残された科目もすべて失格となる。

不正行為者は、学則第46条の規定により懲戒処分となり、その氏名および処分内容を学内に公表される。

また、本人および保証人はその通知を受ける。

〈所持品の扱い〉

試験中は学生証、筆記用具(特に指示のない限り、鉛筆・シャープペンシル・消しゴムのみ)、監督者が許可したもの以外は机上に置かない。その他の手荷物も机の中に入れないで、足元に置く。携帯電話等は試験室に入る前に電源を切っておく。また、これらを時計として使用することはできない。

〈参照許可物件〉

問題用紙に参照許可物件(テキスト、ノート、辞書等)が明示されている場合のみ、参照が許可される。

〈遅刻〉

遅刻は試験開始後15分までは認められる。ただし、遅刻して受験した試験の時間延長は認められない。

なお、遅刻により受験できなかった科目は失格となる。

〈退室〉

試験開始後30分を経なければ退室できない。途中退室する際は、答案を試験監督者に提出し静かに退室する。

〈再入室の禁止〉

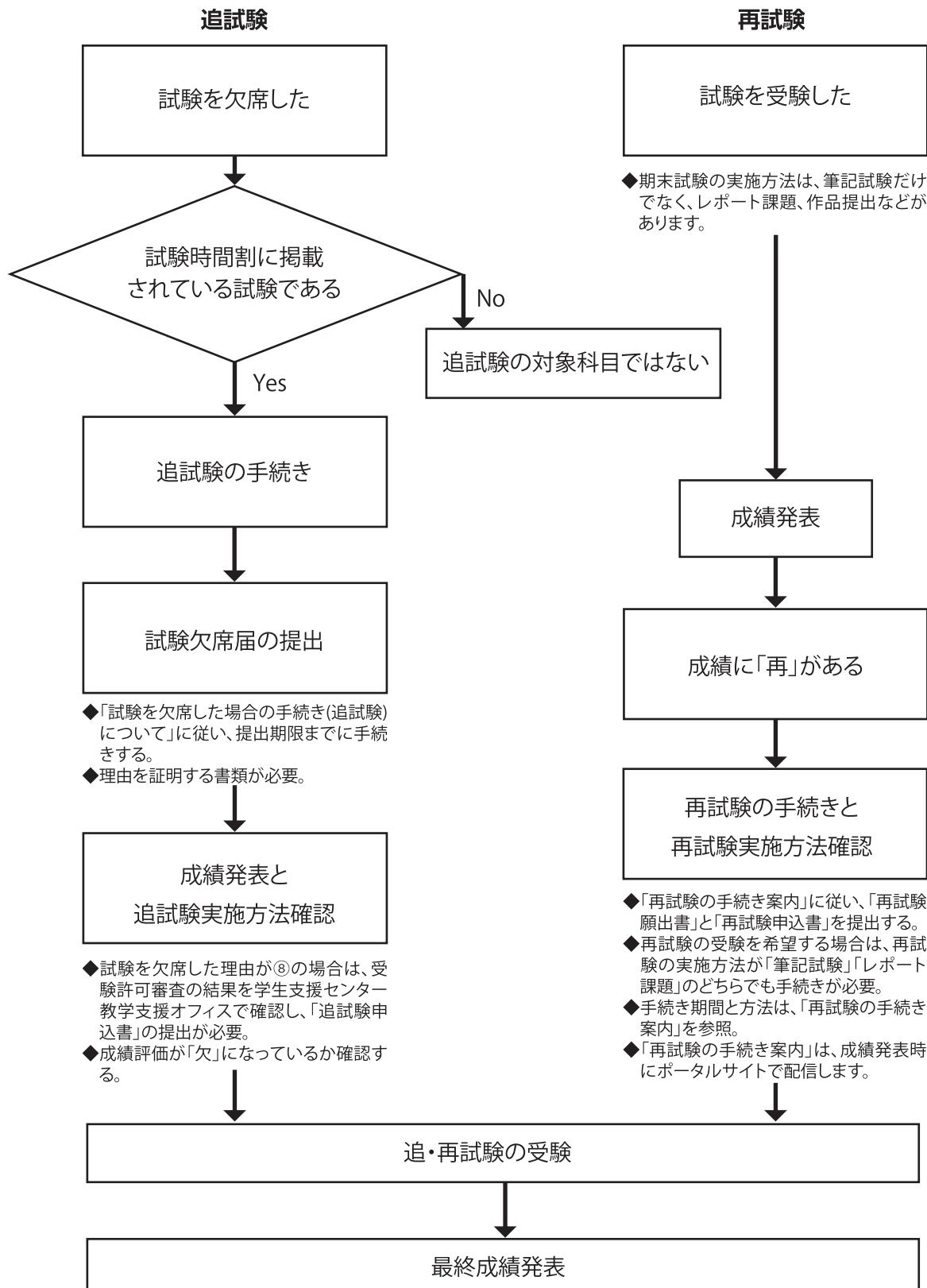
いかなる場合でも、試験室からいったん退室したら再入室は認められない。

〈答案用紙〉

答案用紙は配付または指定されたものを使用し、書き損じたものや、白紙のものも提出する。

9.追試験・再試験の手続きの流れ

試験について



- ◆卒業学年に限り、追再試の再試験(前後期各1科目:必修科目及び免許・資格(教員免許状・栄養士免許証・保育士資格・管理栄養士国家試験・看護師国家試験・保健師国家試験、理学療法士国家試験、作業療法士国家試験の受験資格)の取得要件科目に限る)を実施する場合があります。手続きは、最終成績発表日に受け付けます。
- ◆「試験規程」は、ポータルサイトの学内リンクタブの「規程一覧」の中にあるので確認してください。

VI. 成績評価について

1. 成績の評価・単位の認定

授業科目の成績評価は、試験成績と平常成績を総合して判定し、S. A. B. C. 不とし、C 以上を合格として当該授業科目の単位を認定します。

ただし、当該学期学費未納者については、学費完納まで単位認定を保留します。

なお、100点満点に換算した点数の評価基準は、次のとおりとします。

成績評価基準

合 格	100点～90点	S
	89点～80点	A
	79点～70点	B
	69点～60点	C
不 合 格	60点未満	不
不 合 格 (再試験)	60点未満	再

(追試験)

合 格	100点～90点	S
	89点～80点	A
	79点～70点	B
	69点～60点	C
不 合 格	60点未満	不
欠 席		不

(再試験)

合 格	60点以上	C
	不 合 格	60点未満
	欠 席	不

単位認定
単位不認定

※

※卒業年次学生を対象とする



欠 席	欠
(レポート、作品等により試験を実施した科目は該当しない)	

追試験

失 格	失
-----	---

受験資格喪失(原則として規定授業時間数の2/3以上出席していない者)

認定単位	認
------	---

他の大学等において修得した単位、編入学生等の認定単位

成績評価について

2. 成績の通知

期末試験及び追・再試の結果は、各学期の成績発表日に学生ポータルサイトの成績照会で各自確認してください。既修得単位科目の成績(成績の累算)も成績照会で確認できます。

3. 成績の問い合わせ

成績についての質問がある場合は、成績発表後3日以内(土・日・祝日除く)に学生支援センター教学支援オフィスに申し出て、「成績評価についての質問」に記入し提出してください。

4. GPAについて

GPAとは、Grade Point Average(グレード・ポイント・アベレージ)の略で、履修登録科目の評価等に対して、それぞれにGPを与え、獲得したポイント(GP×単位数)の合計を履修登録した総単位数で除した1単位あたりの成績平均値のことです。GPAを知ることで、学業成績の状況を的確に判断し、自らの学修に対して主体的に自己評価することができ、その後の履修計画を適切に立てられます。

本学では、GPAを主に次の目的に利用するために導入しています。

- 1)履修科目の安易な登録と、途中放棄の防止
- 2)GPA評価平均が下位25%の学生に対する修学支援
- 3)奨学金授与等における判定基準
- 4)就職活動等における推薦者の選抜基準
- 5)成績上位者の表彰の選抜基準
- 6)退学勧告を行う判定基準

<G P (グレード・ポイント)>

最終成績評価(S:4、A:3、B:2、C:1、不認定:0、失格:0、認定:-)

<不合格科目等の取り扱い>

成績評価が不合格の科目、失格となった科目のGPはすべて「0」としてGPAの算出対象となります。「認」は、GPAの算出対象外になります。

<G P Aの算出式>

各科目の成績評価を成績値(G P)に換算し、科目の単位数を掛けて、合計単位数を当該期で履修登録した科目の総単位数で割ったものがGPAとなります。

$$G P A = \frac{(4 \times S \text{ の修得単位数}) + (3 \times A \text{ の修得単位数}) + (2 \times B \text{ の修得単位数}) + (1 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

VII. 規程

学則や各種規程は、ポータルサイトに掲載しています。

<規程一覧へのアクセス>



ポータルサイト:TOP(HOME) > 学内リンク > 規程一覧

URL: <https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/kitei/kitei-index.htm>

VIII. 教務関係の用語集

<教務関係用語集へのアクセス>



ポータルサイト:TOP(HOME) > 学内リンク > 教務関係の用語集

URL: https://gakusei.nagoya-wu.ac.jp/portal/pdf/rishuyoko/kyomu_yogo.pdf

家政学部

1.ディプロマポリシー（学位授与の方針）

家政学部

家政学部のディプロマポリシーは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つのカテゴリーで構成されています。学位授与の規定は、学科が定める所定の単位を修得し、学士力、専門職能を身に付け、女性のもつ能力を活かした専門的職業人としての使命感や責任感が持てる人であることが重要です。さらに、多世代にわたる対人関係力を身に付け、社会の一員として適切な行動ができている人に学位を授与します。

生活環境学科

1. 達成目標

住環境、衣環境、食環境とビジネスや情報等の知識や技術を習得しており、本学特有で伝統的な“生活科学・環境”に関する基本的思考力を身に付け、学問的に発展させ、その成果を社会に活かすことのできる人材となることを達成目標としています。

2. 学修成果

「学士」を授与される学生は、以下のような知識や能力を有します。

- 知識・技能：生活をとりまく住・衣・食とビジネス・情報に関する環境の本質を理解できるような生活環境学に関する知識や技能を身に付けています。
- 思考力・判断力・表現力：生活環境に関する問題を把握し、解決するための思考力と判断力を身に付け、生活環境に関する自分自身の考えを他の人々にもうまく伝えることができる表現力がある。
- 主体性・多様性・協働性：自分の知識や技術を信じ、主体的に探究し続けることができる能力、そして、必要な使命感や責任感を持ち、自ら成長しようとする姿勢および態度を身に付けています。

2. カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

家政学部

家政学部は、建学の精神であり、学園の信条である「親切」を根幹としています。したがって、教育課程では、「個々の人格を陶冶し、かつ高い教養を身に纏った、よき家庭人であり力強き職能人としての女性を育成する」ことを第一の目的としています。この目的を達成するため、学部全体(学士課程)では、女性として活きたコミュニケーション能力をもち、それぞれの専門職におけるリーダーとして社会貢献のできる人材を育てるための教育課程を編成しています。まずは、学士力向上を目標とした教養科目、外国語科目などを他学部と共に設け、幅広い視野に立った豊かな人間性を育成します。次に、家政学に関わる基礎科目を開設し、人間生活と環境の関係を科学的に追究することによって、快適な生活を送る能力や技術を身に付けることを目的とした専門科目を体系的に配置します。

生活環境学科

1 教育課程の編成目標

- (1)住分野では、建築設計や建築計画などの領域を用意し、住環境における専門家として活躍できる能力を養います。
- (2)衣分野では、人間に最も近い環境として被服を捉え、被服の材料から被服の製作・管理までの理論・技術をバランスよく習得し、アパレル業界のスペシャリストとして活躍できる能力を養います。
- (3)食分野では、食品・栄養・調理を中心とした食に関する知識を習得し、外食産業界で活かせる感性、技術および企画力を身につけ、フードスペシャリストやフードコーディネーターとして活躍できる能力を養います。
- (4)ビジネス・情報分野では、情報化に対応した知識と技術を習得し、賢い消費者であるとともに、女性のより一層の社会進出を促進するためのキャリア能力を育成し、生活に関わる諸問題の解決能力を養います。

2 教育課程の編成と特色

(1)セメスター制とGPA

- 1.セメスター制を導入し、1年を前期、後期に分け、半期で完結する授業を行います。
- 2.これにより学生は、半期ごとに時間割を見直すことが可能となり、受講の選択の幅が広がることで、さらに意欲的な学修機会(留学や研修など)の組込みが可能となります。
- 3.GPAを活用して学生指導を適切に実施します。

(2)共通科目的設定・充実

- 1.学びの導入として、1年次に初年次セミナーと初年次演習を履修し、大学生活における学修の目標を見定めて専門科目を履修する目的の確認やモチベーションの高揚を目指します。
- 2.「人間形成」「一般教育」「外国語」「情報・表現」などのカテゴリーに分けた全学共通科目と家政学の基礎となる科目を配置します。

(3)履修モデルの具体化

- 1.「建築・インテリア」「ファッショング」「フード」「ビジネス・情報」そして「教職」の履修モデルを設け、カリキュラムマップ、カリキュラムツリーにより分かりやすく示しています。

2. 住環境分野、衣環境分野、食環境分野、ビジネス・情報分野に関わる2つ以上の分野に強い人材育成が可能な科目配置を行います。

- ①住居学に強く、二級建築士、一級建築士の受験資格取得を支援し、目標が達成できる科目配置
- ②衣環境に強く、2級テキスタイルアドバイザー等の資格取得支援のための科目配置
- ③食環境に強く、フードスペシャリストやフードコーディネーターの資格取得支援のための科目配置
- ④ビジネスや情報に強く、そのエキスパートとしての高い専門性と確かな技術の修得と専門資格取得支援のための科目設置
- ⑤家庭科教員（中学校・高等学校）となるための教職課程の設置と科目配置（オプション）

（4）専門科目群

専門科目は、建築・インテリア科目、ファッショントキスタイル科目、栄養・フード科目、ビジネス・情報科目において、必修・選択別および講義・演習・実験・実習の授業形態別に設置しています。

3 学修成果測定

- ・ループリックによる学修成果の可視化
- ・学修(e)ポートフォリオによる学修成果の蓄積
- ・家政学および生活環境学全般に関わる学修達成度調査、専門知識・技能に関する「卒業研究（発表・論文・製作）」の公表

4 学修環境

学修成果を生み出すために以下のような学修環境を提供します。

- ・産学官連携によるPBLなどのアクティブラーニングの実施
- ・異文化コミュニケーション（海外研修）
- ・少人数制を重視した教育（ゼミナールなど）
- ・演習・実験を通じ、内容の深い理解と体験
- ・スキル育成のための入門的な科目（初年次セミナー、初年次演習、情報、語学など）
- ・各分野の社会における体験と就職活動のための状況認識（体験型学習プログラム）

特に、理論から演習・実験という科目を通じて、内容の理解、体験、スキル獲得を行い、より高い技術を確実に身に付けることができます。また、3年次、4年次に「アカデミックスキルズ」「卒業研究」を連続履修して卒業論文（選択）を作成し、さらに、ディプロマポリシーに沿った資格取得支援プログラムも設けています。

3. 教育課程

全学共通科目

授業科目		単位数 必修 選択	授業形態	配当学年								授業時間数	教員免許状	上級情報処理士	備考				
				1年		2年		3年		4年									
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
科人間形成目成	建学のこころ	1	講義									-							
	総合女性学	2	講義									2							
	キャリア入門	2	講義									2							
一般教育科目	哲学の方法	2	講義									2							
	心のしくみ	2	講義									2							
	文学の表現と鑑賞	2	講義									2							
	歴史に学ぶ	2	講義									2							
	国際事情	2	講義									2							
	日本国憲法	2	講義									2	◎						
	くらしの経済	2	講義									2							
	生活と地理	2	講義									2							
	数学の世界	2	講義									2							
	一般化学	2	講義									2							
	生命のしくみ	2	講義									2							
	生活の物理	2	講義									2							
	地球環境と人間	2	講義									2							
	初年次セミナー	2	講義									2							
	初年次演習	1	演習									2							
芸術科目	音楽	1	演習									2							
	美術	1	演習									2							
	書道	1	演習									2							
外国语科目	Basic English 1	1	演習									2	◎						
	Basic English 2	1	演習									2	◎						
	Advanced English 1	1	演習									2							
	Advanced English 2	1	演習									2							
	総合英語A-1	1	演習									2	◎						
	総合英語A-2	1	演習									2	◎						
	総合英語B-1	1	演習									2							
	総合英語B-2	1	演習									2							
	初級フランス語1	1	演習									2							
	初級フランス語2	1	演習									2							
	中級フランス語	1	演習									2							
	初級中国語1	1	演習									2							
	初級中国語2	1	演習									2							
	中級中国語	1	演習									2							
科情報表現科目	情報処理演習1	1	演習									2	◎	◎					
	情報処理演習2	1	演習									2	◎	◎					
	日本語表現法1	1	演習									2							
	日本語表現法2	1	演習									2							
康体育科目	健康科学	2	講義									2							
	スポーツ一ツ1	1	実技									2	◎						
	スポーツ一ツ2	1	実技									2	◎						

(注) 1. 教員免許状・情報処理士・上級情報処理士を取得するためには、◎印(必修)の単位を修得すること。

2. 開講学年・時期は各年度の授業計画により変更する場合がある。

生活環境学科

(1) 教育目的について

循環型社会(環境への負荷ができるかぎり低減される社会)における生活のあり方を探求し、住環境、衣環境、食環境を主とした家政学分野およびビジネス・情報環境等の専門知識や技術を有する人材の育成を目的とします。

(2) 授業科目について

4年間の履修を通して、生活とそれをとりまく近接環境について、住生活、衣生活、食生活、ビジネス・情報を家政学の視点から考察し行動できる力の養成をめざします。全学共通科目による豊かな教養の上に、学科専門科目で幅広い関連知識を学び、長寿社会や循環型社会等の言葉で表現されるこれからの時代を担い社会に貢献する意志と能力を育てます。さらに、卒業後専門としたい分野についてより深く学んでいくことや、関連する免許や資格の取得にもつながる科目が多数用意されています。

学科専門科目は、全員に関わる科目群と、希望する分野に関わる科目群とに分けられます。全員に関わる科目群は、家政学の諸分野や近接環境との関わりを総合的に捉え、どの専門分野をめざす場合にも履修することが望ましい基礎科目と経験を広めると同時に深く追究する姿勢を身につけるための卒業研究とで構成されています。希望する分野に関わる科目群は、建築・インテリア、ファッショントキスタイル、栄養・フード、ビジネス・情報系科目です。

以下に、卒業後の進路や資格取得との関係を中心にAからFを示します。卒業要件と照らしながら、各自の履修計画を立ててください。なお、希望する免許・資格取得については、「4. 免許・資格」を参照してください。

- A. 建築・インテリア：卒業と同時に国家資格である一級・二級建築士受験資格を取得する。更に最短2年の実務経験で一級建築士免許登録資格を取得するなどして、住宅産業・建築設計・建設・インテリア・リフォーム・家具業界等での活躍をめざす。関連してインテリア系諸資格や商業施設士等の取得をめざす。
- B. ファッション：テキスタイルアドバイザーの資格を取得するとともに色彩検定、カラーコーディネーター検定、ファッションビジネス能力検定などアパレル関係の諸種の資格を得し、繊維・ファッション関連業界への就職をめざす。
- C. 栄養・フード：フードスペシャリストとフードコーディネーター3級の資格を取得し、調理・食品・栄養・フードコーディネート等についての知識と実践的技術を身につけ、食品流通や外食産業関連業界への就職をめざす。また、教職希望者については食生活に関する知識と技術を修得する。
- D. ビジネス：日商簿記やファイナンシャル・プランニング技能士などビジネス関係の資格を得し、就職に強いキャリアアップの基盤を修得するとともに賢い消費者となるための幅広い知識を深める。
- E. 情報：上級情報処理士、情報処理士、ITパスポートなど情報関係の資格取得をめざす。
- F. 教職：衣食住をはじめ家政学の諸分野に関する幅広い知識を深め、中学校教諭一種(家庭)・高等学校教諭一種(家庭)の免許状を取得する。

(4) 教育課程について

生活環境学科 専門科目

授業科目	単位数	授業形態	配当学年				授業時間数	免許・資格													
			1年		2年		3年		4年		建築士	衣料管理士	フードコーディネータ	日商簿記検定	FPT技能士	情報処理士	上級情報処理士	ホームページ作成検定	ITパスポート	中一種免	高一種免
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
基礎科目	家政学概論	2	講義								2										
	生活と環境	2	講義								2										
	家庭経済学	2	講義								2						△	○○			
	家族関係学	2	講義								2						○○	○○			
	色彩育成学	2	講義								2		○				○○	○○			
	住生活論	2	講義								2		○				○○	○○			
	住居学	2	講義								2		○				○○	○○			
	生工学	2	講義								2						○○	○○			
	衣服生活科	2	講義								2		○				○○	○○			
	被服構成学	2	講義								2		○				○○	○○			
	被服構成実習	1	実習								3		△				○○	○○			
	被服構成実習	2	実習								3		△				○○	○○			
	食生活論	2	講義								2		○○				○○	○○			
	食品学総論	2	講義								2		○○				○○	○○			
	栄養学	2	講義								2		○○				○○	○○			
	調理実習	1	実習								3		○○				○○	○○			
	調理実習	2	実習								3		○○				○○	○○			
	消費生活論	2	講義								2		○				○○	○○			
	消費者調査法	1	演習								2		○				△	○○			
	情報処理概論	2	講義								2						○○	○○			
	生活とICT	2	講義								2										
専門科目	インテリアデザイン	2	講義								2	○	○								
	インテリア材料	2	講義								2	○									
	インテリアデザイン演習1	1	演習								2	○									
	インテリアデザイン演習2	1	演習								2	○									
	建築基礎製図1	1	演習								2	○					○○	○○			
	建築基礎製図2	1	演習								2	○					○○	○○			
	住生活史	2	講義								2	○									
	住居福祉論	2	講義								2	○									
	住宅デザイン1	2	講義								2	○									
	住宅デザイン2	2	講義								2	○									
	住宅デザイン演習1	1	演習								2	○									
	住宅デザイン演習2	1	演習								2	○									
	住宅デザイン演習3	1	演習								2	○									
	住宅デザイン演習4	1	演習								2	○									
	建築計画1	2	講義								2	○									
	建築計画2	2	講義								2	○									
	建築計画演習1	1	演習								2	○									
	建築計画演習2	1	演習								2	○									
	建築計画演習3	1	演習								2	○									
	建築計画演習4	1	演習								2	○									
	都計	2	講義								2	○									
	建築CAD演習1	1	演習								2	○									
	建築CAD演習2	1	演習								2	○									
	建築CAD演習3	1	演習								2	○									
	建築CAD演習4	1	演習								2	○									
	建築設備1	2	講義								2	○									
	建築設備2	2	講義								2	○									
	住宅関連法規1	2	講義								2	○									
	住宅関連法規2	2	講義								2	○									
	建築材料学	2	講義								2	○									
	構造力学	1	講義								2	○									
	構造型力学	2	講義								2	○									
	建築一般構造	1	講義								2	○									

授業科目		単位数	必選修	授業形態	配当学年				授業時間数	免許・資格													
					1年		2年		3年		4年		建築士	衣料管理士	フードコーディネーター	日商簿記検定	F技能士	情報処理士	上級情報処理士	ITパスポート	ホームページ作成検定	中一種免	高一免
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
専門科目	建築一般構造工	2	講義										2	○									
	住宅施設工	2	講義										2	○									
	建築構造材料実験	1	実験										2	○									
	建築構造材料実験	1	実験										2	○									
	テキスタイル材料学	2	講義										2	○									
	テキスタイル材料学実験	1	実験										3	○									
	被服整理学	2	講義										2	○									
	被服整理学実験	1	実験										3	○						○ ○			
	染色加工学	2	講義										2	○									
	染色加工実習	1	実習										3	△									
	衣環境学	2	講義										2	○						○ ○			
	パターンメーキング	1	演習										2	△									
	アパレルCAD演習	1	演習										2	○									
	アパレルデザイン論	2	講義										2	△									
	アパレル生産実習	1	実習										3	○									
	色彩学演習	1	演習										2	○									
	ファッションドローイング	1	演習										2	△									
	アパレル造形演習	1	演習										2	○									
	ファッショニングビジネス概論	2	講義										2	○									
	アパレル企画演習	1	演習										2	○									
	和装学実習	1	実習										3	△									
科目	調理学	2	講義										2	△	○					○ ○			
	食品衛生学	2	講義										2	○	○								
	食物学実験	1	実験										3	○									
	食品官能評価・鑑別1	1	演習										2	○									
	食品官能評価・鑑別2	1	演習										2	○									
	食空間とテーブルコーディネート	1	演習										2	○									
	フードマネジメント論	2	講義										2	○	○								
	メニュープランニング実習	1	実習										3	○									
	フードスペシャリスト論	2	講義										2	○									
	フードコーディネート論	2	講義										2	○	○								
目	食の商品開発とイベント演習	1	演習										2	△									
	製菓・製パンとカフェ	1	実習										3	△	△								
	簿記演習1	1	演習										2			△	△						
	簿記演習2	1	演習										2			△	△						
	ファイナンシャルプランニング論	2	講義										2			△							
	ファイナンシャルプランニング演習	1	演習										2			△							
	ファイナンシャルプランニング実践	1	演習										2			△							
	情報科学概論	2	講義										2			○	○						
	生活情報論	2	講義										2			○	○						
	ホームページ作成演習	1	演習										2			○	○			△			
総合科目	マルチメディア演習	1	演習										2			○	○						
	コンピュータデザイン演習	1	演習										2			○	○						
	ソフトウェア開発演習1	1	演習										2			○	○	△					
	ソフトウェア開発演習2	1	演習										2			○	○	△					
	ITストラテジ論	2	講義										2			○	○	△					
卒業研究	ITマネジメント論	2	講義										2			○	○	△					
	ITテクノロジ論	2	講義										2			○	○	△					
	キャリアデザイン演習1	1	演習										2										
卒業研究	キャリアデザイン演習2	1	演習										2										
	異文化コミュニケーション	2	演習										4										
	アカデミックスキルズ	2	講義										2										

(注1) 免許・資格欄の○印は資格の必修科目、○印は選択科目、△印は推奨科目。

(注2) 建築士試験の指定科目と必要単位数は、P.30の表1、2、3で確認すること。

(注3) 衣料管理士の○印は2級必修科目(2.8単位)。

(注4) フードコーディネーターの○印は3級必修科目(1.8単位)、△印は2級試験推奨科目。

(注5) 情報処理士・上級情報処理士の資格について、全学共通科目の「情報処理演習1」と「情報処理演習2」は資格必修科目。

(注6) 「卒業研究」は、「アカデミックスキルズ」の単位を修得していないと履修できません。

(3) 資格について

①建築士・インテリアプランナー

建築士は国家資格であり、設計事務所・住宅産業・建設業等において、建築物の設計・監理や工事管理・法令に基づく申請を行うために必要とされる、建築士法に定められた免許です。

建築士試験の受験資格取得のためには、指定科目の単位を修得する必要があります。試験合格後の資格登録に必要な建築実務の経験年数は、指定科目の修得単位数によって異なります。指定科目とは、公益財団法人建築技術普及センターが定めた、建築設計製図、建築計画、建築環境工学または建築設備、構造力学、建築一般構造または建築材料、建築生産、建築法規などの各分野において、大学が登録した科目のことです。本学が登録している各分野の指定科目は表1、必要修得単位数については、表2、3で確認できます。なお本学では、試験合格後に資格登録する際の実務経験が最小期間となるように、1級建築士では60単位、2級建築士では40単位を履修することを推奨、指導しています。

表1 指定科目に該当する本学の登録科目一覧

指定科目の分類	本学の登録科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	建築基礎製図1	1年	1
①建築設計製図	建築基礎製図2	1年	1
①建築設計製図	住宅デザイン演習1	2年	1
①建築設計製図	インテリアデザイン演習1	2年	1
①建築設計製図	インテリアデザイン演習2	3年	1
①建築設計製図	建築計画演習1	3年	1
①建築設計製図	建築計画演習2	3年	1
①建築設計製図	建築計画演習3	4年	1
①建築設計製図	建築計画演習4	4年	1
①建築設計製図	建築CAD演習1	2年	1
①建築設計製図	建築CAD演習2	2年	1
		小計	11
②建築計画	住居学	1年	2
②建築計画	住生活論	2年	2
②建築計画	住生活史	2年	2
②建築計画	居住福祉論	2年	2
②建築計画	住宅デザイン1	1年	2
②建築計画	住宅デザイン2	1年	2
②建築計画	建築計画1	2年	2
②建築計画	建築計画2	2年	2
		小計	16
③建築環境工学	建築設備1	3年	2
		小計	2
④建築設備	建築設備2	3年	2
		小計	2
⑤構造力学	構造力学1	2年	2
⑤構造力学	構造力学2	2年	2
⑤構造力学	建築構造材料実験2	3年	1
		小計	5
⑥建築一般構造	建築一般構造1	3年	2
⑥建築一般構造	建築一般構造2	3年	2
		小計	4
⑦建築材料	建築材料学	2年	2
⑦建築材料	建築構造材料実験1	3年	1
		小計	3
⑧建築生産	住宅施工	4年	2
		小計	2
⑨建築法規	住宅関連法規1	3年	2
⑨建築法規	住宅関連法規2	4年	2
		小計	4
⑩複合関連科目	住宅デザイン演習2	2年	1
⑩複合関連科目	住宅デザイン演習3	3年	1
⑩複合関連科目	住宅デザイン演習4	3年	1
⑩複合関連科目	建築CAD演習3	3年	1
⑩複合関連科目	建築CAD演習4	3年	1
⑩複合関連科目	住居管理学	3年	2
⑩複合関連科目	インテリアデザイン	1年	2
⑩複合関連科目	インテリア材料	2年	2
⑩複合関連科目	都市計画	4年	2
		小計	13

表2 1級建築士試験・登録に係る必要単位数と建築実務の経験年数

指定科目の分類	必要な単位数		
①建築設計製図	7単位		
②建築計画	7単位		
③建築環境工学	2単位		
④建築設備	2単位		
⑤構造力学	4単位		
⑥建築一般構造	3単位		
⑦建築材料	2単位		
⑧建築生産	2単位		
⑨建築法規	1単位		
①～⑨の計(a)	30単位		
⑩複合・関連科目(b)	適宜		
(a)+(b)	60単位	50単位	40単位
必要な実務経験年数(試験時)	0年		
必要な実務経験年数(登録時)	2年	3年	4年

表3 2級建築士試験・登録に係る必要単位数と建築実務の経験年数

指定科目の分類	必要な単位数		
①建築設計製図	3単位		
②建築計画			
③建築環境工学	2単位		
④建築設備			
⑤構造力学			
⑥建築一般構造	3単位		
⑦建築材料			
⑧建築生産	1単位		
⑨建築法規	1単位		
①～⑨の計(a)	10単位		
⑩複合・関連科目(b)	適宜		
(a)+(b)	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数(試験時)	0年		
必要な実務経験年数(登録時)	0年	1年	2年

インテリアプランナーとは、公益財団法人建築技術普及センターが認定する資格で、オフィス、店舗、住宅等のインテリアデザインを行う専門家です。インテリアプランナーの試験には、1次の学科試験と2次の設計製図試験があり、1次と2次を合格後に登録を受けることにより「インテリアプランナー」と称することができます。なお、表4に示す科目について、認定条件を満たすように単位を修得すると、試験合格後に登録する際に必要とされる実務経験が2年から0年になります。

表4 インテリアプランナー登録資格に係る科目

	科目名	履修学年	単位数
A	住生活史	2年	2
	住宅デザイン1	1年	2
	住宅デザイン2	1年	2
	住生活論	2年	2
	住居管理学	3年	2
	居住福祉論	2年	2
B	建築計画1	2年	2
	建築計画2	2年	2
	インテリアデザイン	1年	2
	建築設備1	3年	2
	建築設備2	3年	2
	建築材料科学	2年	2
	建築構造材料実験1	3年	1
	建築構造材料実験2	3年	1
	住宅施工	4年	2
	インテリア材料	2年	2
	構造力学1	2年	2
	構造力学2	2年	2
	建築一般構造1	3年	2
	建築一般構造2	3年	2
	住宅関連法規1	3年	2
	住宅関連法規2	4年	2
	建築CAD演習1	2年	1
	建築CAD演習2	2年	1
	建築CAD演習3	3年	1
	建築CAD演習4	3年	1
設計	インテリアデザイン演習1	2年	1
	インテリアデザイン演習2	3年	1
	都市計画	4年	2
	建築基礎製図1	1年	1
	建築基礎製図2	1年	1
	住宅デザイン演習1	2年	1
	住宅デザイン演習2	2年	1
	住宅デザイン演習3	3年	1
	住宅デザイン演習4	3年	1
	住居学	1年	2
	建築計画演習1	3年	1
	建築計画演習2	3年	1
	建築計画演習3	4年	1
	建築計画演習4	4年	1

※認定条件(1~3すべてを満たすこと)

1. A+B=36単位以上
2. B=24単位以上
3. Bのうち設計を1科目以上履修

②テキスタイルアドバイザー

テキスタイルアドバイザー(衣料管理士)は日本衣料管理協会が認定する資格です。ファッショングからインテリア、生活雑貨まで、私たちの生活を豊かに彩る繊維製品の企画・設計・生産／販売／品質管理・保証／消費者対応などについて、豊富な知識と技術、アイデアを活かして社会に貢献するプロフェッショナルです。

必要な単位を修得し、最終試験に合格すると卒業時に、一般社団法人日本衣料管理協会が認定する衣料管理士(2級)資格を取得できます。

③フードコーディネーター

フードコーディネーターの資格は3級から1級まであり、この資格は食の現場や経営サイドで活躍できる食のプロ養成を目指した資格です。フードコーディネーターの外食産業における活動範囲は、「食の商品開発」「レストランプロデュース」「フードプロモーション」の3分野を柱に、食品・飲料メーカーをはじめ、流通、マスコミ、ホテル＆レストラン、産地(生産者)、教育など、フードビジネスのあらゆる分野にわたります。必要な単位を修得して、資格申請すると2年次の終了までに3級の資格取得ができます。さらに3級資格取得後は2級試験対策科目である推奨科目を履修して、2級試験に備えることができます。

④フードスペシャリスト

フードスペシャリストは、豊かな専門知識をベースに「食」に関する情報を提供する専門家です。食品メーカーにおいて食品の鑑別・管理・販売・消費者への情報提供・相談業務等を担当したり、スーパー・マーケット・デパートなどの販売店、ホテル、レストラン等において提供する側と消費する側の調整を図るスペシャリストです。

必要な単位を修得し認定試験に合格すると卒業時に、農林水産省監督のもとに社団法人日本フードスペシャリスト協会が認定する、フードスペシャリスト資格、専門フードスペシャリスト資格(食品開発、食品流通・サービス)を取得できます。

⑤日商簿記検定

日本商工会議所の簿記検定試験は、最もメジャーで企業からの評価も高い検定です。試験は年3回実施される「統一試験(ペーパー方式)」の他に、3級・2級で行われる「ネット試験」もあります。ネット試験は自分の希望する日時に受験することが可能なため、スケジュールを調整しながら取り組むことができます。簿記は経理職のみならず、一般事務や店舗責任者など、様々な職種および副業や起業にも役立ちます。近年は英語やPCスキルとあわせて「ビジネスの基礎能力」として認知されるようになり、大学生のみならず社会人も勉強する方が増えています。生活環境学科では、△の印が付けられた科目において、3級および2級の資格取得のための指導を行っています。

⑥ファイナンシャル・プランニング技能士

ファイナンシャル・プランニング(FP)技能士は、顧客の家族構成・収支・資産状況などのデータをもとに、顧客のライフプラン上の目的(夢・希望)を達成するために、金融・税金・社会保険・民間保険・不動産・相続といった人生には欠かせないことについて、総合的に生活設計のプランニングを行ない、その実行を支援していく専門家です。この資格は就職活動に有効であり、特に金融関連の業界や仕事を希望する人は取得しておいた方が好ましい資格です。生活環境学科では△の印が付けられた科目を通じて、ファイナンシャル・プランニング技能士3級・2級の取得をサポートしています。

⑦情報処理士・上級情報処理士

情報処理士・上級情報処理士とは、情報処理技術、ビジネスで活用されるソフトウェア技能、プレゼンテーション能力、および、オフィスの組織や情報の流れを活用するための基礎、応用を身につけた者に与えられる資格で、社会での活躍が期待されています。

- 情報処理士

生活環境学科の一覧表で、情報処理士欄に○の印がつけられた「情報科学概論」、「ホームページ作成演習」、その他の「情報処理士」に必要な単位を修得した学生には、全国大学実務教育協会の「情報処理士の認定資格」が与えられます。

- 上級情報処理士

生活環境学科の一覧表で、上級情報処理士欄に○の印がつけられた「ITテクノロジ論」、「情報科学概論」、「ホームページ作成演習」、「ソフトウェア開発演習1」、その他の「上級情報処理士」に必要な単位を修得した学生には、全国大学実務教育協会の「上級情報処理士の認定資格」が与えられます。

両資格とも、協会への認定証交付申請手続きは本学から一括して行い、認定登録に関わる費用を指定期限内に納めれば、認定書を卒業式当日にお渡しします。

⑧ITパスポート

ITパスポートは、情報処理技術者試験の分野において経済産業省が認定する12種類の国家資格のうちの一つです。ITパスポートは、これら12種類の中でも入門的な位置付けの資格です。情報化社会の中で働く人が備えておきたい知識を持っていることの証明、即ち、職業人のパスポートとして通用する資格という意味が「ITパスポート」という名前に込められています。ITを最大限に生かした付加価値の高い仕事をする職業人を目指す人のための資格です。試験では、ITや経営、業務分析に関する基礎的な知識が問われます。国家資格ですので、大学外に試験を受けにいく必要がありますが、生活環境学科の一覧表においてITパスポート欄に△の印が付けられた「ITテクノロジ論」、「ITマネジメント論」、「ITストラテジ論」、「ソフトウェア開発演習1」などの授業が、ITパスポート資格取得をサポートします。

⑨ホームページ作成検定

ホームページ作成検定は、日本情報処理検定協会が主催している検定試験です。パソコンを使ってホームページを作成する力を身につけ、情報化社会のなかでコンピュータの活用能力を向上させることを目的としています。ICT化の進展とともに、ホームページ作成技術は様々な業界において必要とされています。検定は4つのレベルに分かれており、技術向上に合わせて初心者から段階的に受験できます。生活環境学科では、△のついた科目において、ホームページ作成検定の取得をサポートしています。

〈生活環境学科〉カリキュラムマップ

目標のキーワード

到達目標(学修成果目標)

DP: ディプロマポリシー

①知識・技能	① DP1 生活をとりまく住・衣・食とビジネス・情報に関する環境の本質を理解できるような生活環境学に関する知識や技能を身に付けている。
②思考力・判断力・表現力	② DP2 生活環境に関する問題を把握し、解決するための思考力と判断力を身に付け、生活環境に関する自分自身の考えを他の人々にもうまく伝えることができる表現力がある。
③主体性・多様性 協働性	③ DP3 自分の知識や技術を信じ、主体的に探究し続けることができる能力、そして、必要な使命感や責任感を持ち、自ら成長しようとする姿勢および態度を身に付けている。

科目別目標

特に重点的に育成する能力=○、重点的に育成する能力=○

学年	期	ナンバリング	科目名	資格コード	①	②	③
1	前期	UA0 0 00 L 1 01 Z	建学のこころ			○	○
		UA0 0 37 L 2 14 L	初年次セミナー			○	○
		UA0 0 83 E 4 01 L	Basic English 1	N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	
		UA0 0 83 E 4 05 L	総合英語 A-1	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	
		UA0 0 54 E 5 01 L	情報処理演習 1	H1J1J2N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	
		UA0 0 81 E 5 03 L	日本語表現法 1	T4	○	○	
		EE0 0 59 L a 01 L	家政学概論		○	○	
		EE0 0 51 L a 02 L	生活と環境		○	○	
		EE0 0 36 L a 03 L	家庭経済学	T5T6	○	○	
		EE0 0 52 L a 11 L	住居学	A1A2T5T6	○	○	
		EE0 0 59 L a 07 L	生活工学	J2	○	○	
		EE0 0 38 L a 21 L	衣生活論	C1T5T6	○	○	
		EE0 0 59 L a 31 L	食生活論	F1F2T5T6	○	○	
		EE0 0 54 L a 41 L	情報処理概論	J1J2	○	○	
		EE0 0 52 E b 21 L	建築基礎製図 1	A1A2T5T6	○	○	
		EE0 0 52 L b 31 L	住宅デザイン 1	A1A2	○	○	
		EE0 0 59 L c 31 L	衣環境学	C1	○	○	
		EE0 0 59 L d 11 L	調理学	F1T5T6	○	○	
		EE0 0 33 E e 11 L	簿記演習 1		○	○	
1・2		UA0 0 33 L 2 05 L	国際事情		○	○	
		UA0 0 33 L 2 07 L	くらしの経済		○	○	
		UA0 0 43 L 2 10 L	一般化学		○	○	
		UA0 0 46 L 2 11 L	生命のしくみ		○	○	
		UA0 0 85 E 4 09 L	初級フランス語 1		○	○	
		UA0 0 82 E 4 12 L	初級中国語 1		○	○	
		UA0 0 49 L 6 01 L	健康科学	H1	○	○	○
		UA0 0 78 P 6 02 L	スポーツ 1	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	
1	後期	UA0 0 37 E 2 15 L	初年次演習		○	○	
		UA0 0 83 E 4 02 L	Basic English 2	N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	
		UA0 0 83 E 4 06 L	総合英語 A-2	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	
		UA0 0 54 E 5 02 L	情報処理演習 2	H1J1J2N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	
		UA0 0 81 E 5 04 L	日本語表現法 2	T4	○	○	
		EE0 0 59 L a 04 L	家族関係学	T5T6	○	○	
		EE0 0 75 L a 06 L	色彩学	C1	○	○	○
		EE0 0 37 L a 05 L	保育学	T5T6	○	○	
		EE0 0 59 L a 22 L	被服科学	C1	○	○	
		EE0 0 59 L a 23 L	被服構成学	C1T5T6	○	○	
		EE0 0 49 L a 32 L	食品学総論	F1F2T5T6	○	○	
		EE0 0 59 T a 34 L	調理学実習 1	F1F2T5T6	○	○	○
		EE0 0 52 L b 11 L	インテリアデザイン	A1A2F1	○	○	
		EE0 0 52 E b 22 M	建築基礎製図 2	A1A2T5T6	○	○	
		EE0 0 52 L b 32 M	住宅デザイン 2	A1A2	○	○	
		EE0 0 59 E c 33 L	ファッションドローイング		○	○	
		EE0 0 54 L e 31 M	情報科学概論	J1J2	○	○	
		EE0 0 33 E e 12 L	簿記演習 2		○	○	

学年	期	ナンバリング						科目名	資格コード	①	②	③
1 2	後期	UA0	0	36	L	1	02	M	総合女性学		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	36	L	1	03	L	キャリア入門		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	14	L	2	02	L	心のしくみ		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	32	L	2	06	L	日本国憲法	N2N3T1T3T4T5T6T7	<input checked="" type="checkbox"/>	
		UA0	0	42	L	2	12	L	生活の物理		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	45	L	2	13	L	地球環境と人間		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	85	E	4	10	L	初級フランス語2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	82	E	4	13	L	初級中国語2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	78	P	6	03	L	スポーツ2	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	59	E	f	01	Z	異文化コミュニケーション		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	前期	UA0	0	83	E	4	03	M	Advanced English 1		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		UA0	0	83	E	4	07	M	総合英語B－1		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	a	12	L	住生活論	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	59	T	a	24	L	被服構成実習1	T5T6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	49	L	a	33	L	栄養学	F1F2T5T6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	59	T	a	35	L	調理学実習2	F1F2T5T6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	54	L	a	42	L	生活とICT		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	b	12	L	インテリア材料	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	b	02	L	居住福祉論	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	E	b	33	L	住宅デザイン演習1	A1A2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	b	23	L	建築計画1	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	E	b	41	L	建築CAD演習1	A1A2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	b	51	L	構造力学1	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	58	L	c	11	L	テキスタイル材料学	C1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	58	E	c	34	L	パターンメーキング		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	59	L	c	32	L	アパレルデザイン論		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	75	E	c	01	M	色彩学演習	C1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	49	L	d	21	L	食品衛生学	F1F2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	33	L	e	21	L	ファイナンシャルプランニング論		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	54	E	e	61	L	ソフトウェア開発演習1	J1J2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	54	L	e	32	L	ITテクノロジ論	J2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2 3		UA0	0	11	L	2	01	L	哲学の方法		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	91	L	2	03	L	文学の表現と鑑賞		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		UA0	0	29	L	2	08	L	生活と地理		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	76	E	3	01	L	音楽		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	85	E	4	11	M	中級フランス語		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		UA0	0	82	E	4	14	M	中級中国語		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	後期	UA0	0	83	E	4	04	M	Advanced English 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		UA0	0	83	E	4	08	M	総合英語B－2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	59	T	a	25	M	被服構成実習2	T5T6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	E	b	13	L	インテリアデザイン演習1	A1A2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	38	L	b	01	L	住生活史	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	E	b	34	M	住宅デザイン演習2	A1A2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	b	24	M	建築計画2	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	E	b	42	M	建築CAD演習2	A1A2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	b	61	L	建築材料学	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	52	L	b	52	M	構造力学2	A1A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	58	M	c	12	M	テキスタイル材料学実験	C1		<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	58	E	c	35	L	アパレルCAD演習	C1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	59	E	d	31	L	食空間とテーブルコーディネート	F1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	49	L	d	42	L	フードマネジメント論	F1F2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	58	M	d	32	M	メニュー・プランニング実習	F1		<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	59	L	d	41	L	フードコーディネート論	F1F2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	33	E	e	22	M	ファイナンシャルプランニング演習		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		EE0	0	54	E	e	41	M	ホームページ作成演習	J1J2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	54	E	e	62	M	ソフトウェア開発演習2	J2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		EE0	0	54	L	e	33	M	ITマネジメント論	J2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

学年	期	ナンパリング						科目名	資格コード	①	②	③
2 ・ 3	後 期	UA0	0	21	L	2	04	L	歴史に学ぶ		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		UA0	0	41	L	2	09	L	数学の世界		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		UA0	0	72	E	3	02	L	美術		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		UA0	0	72	E	3	03	L	書道		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	前 期	EE0	0	36	L	a	08	M	消費生活論	C1J2T5T6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	L	b	03	L	住居管理学	A1A2T5T6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	E	b	35	M	住宅デザイン演習3	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	E	b	25	L	建築計画演習1	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	E	b	43	M	建築C A D 演習3	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	L	b	71	L	建築設備1	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	L	b	81	L	住宅関連法規1	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	L	b	53	L	建築一般構造1	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	M	b	62	H	建築構造材料実験1	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	59	L	c	21	M	被服整理学	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	L	c	23	L	染色加工学	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	T	c	36	M	アパレル生産実習	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	L	c	41	L	ファッショニビジネス概論	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	49	M	d	22	M	食物学実験	F2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	49	E	d	23	L	食品官能評価・鑑別1	F2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	33	E	e	23	M	ファイナンシャルプランニング実践		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	54	E	e	51	M	マルチメディア演習	J2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	54	E	e	71	L	コンピュータデザイン演習	J2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	54	L	e	34	M	ITストラテジ論	J2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	37	E	f	11	L	キャリアデザイン演習1	J2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	後 期	EE0	0	52	E	b	14	M	インテリアデザイン演習2	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	E	b	36	M	住宅デザイン演習4	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	E	b	26	M	建築計画演習2	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	E	b	44	M	建築C A D 演習4	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	L	b	72	M	建築設備2	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	L	b	54	L	建築一般構造2	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	M	b	63	H	建築構造材料実験2	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	59	M	c	22	M	被服整理学実験	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	M	c	24	M	染色加工実習		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	E	c	37	M	アパレル造形演習	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	49	E	d	24	M	食品官能評価・鑑別2	F2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	59	L	d	43	M	フードスペシャリスト論	F2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	前 期	EE0	0	37	E	f	12	L	キャリアデザイン演習2		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	00	L	f	31	M	アカデミックスキルズ		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	36	E	a	09	M	消費者調査法	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	E	b	27	M	建築計画演習3	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	後 期	EE0	0	52	E	b	28	M	建築計画演習4	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	51	L	b	91	L	都市計画	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	52	L	b	82	M	住宅関連法規2	A1A2	<input type="radio"/>	
		EE0	0	52	L	b	55	L	住宅施工	A1A2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	E	c	38	M	アパレル企画演習	C1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	59	M	c	03	M	和装学実習		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	E	d	44	M	食の商品開発とイベント演習		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		EE0	0	58	T	d	33	M	製菓・製パンとカフェ		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
通年	EE0	0	54	L	e	35	L	生活情報論	J1J2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	EE0	0	00	E	g	11	H	卒業研究		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

※教育の基礎的理理解に関する科目等、各教科の指導法の到達目標はP.41を参照。

〈生活環境学科〉カリキュラムツリー

(1) *印の科目はいすかの学年で履修できる。

(2) 科目名に記載の①②③は①DP1、②DP2、③DP3を示す。

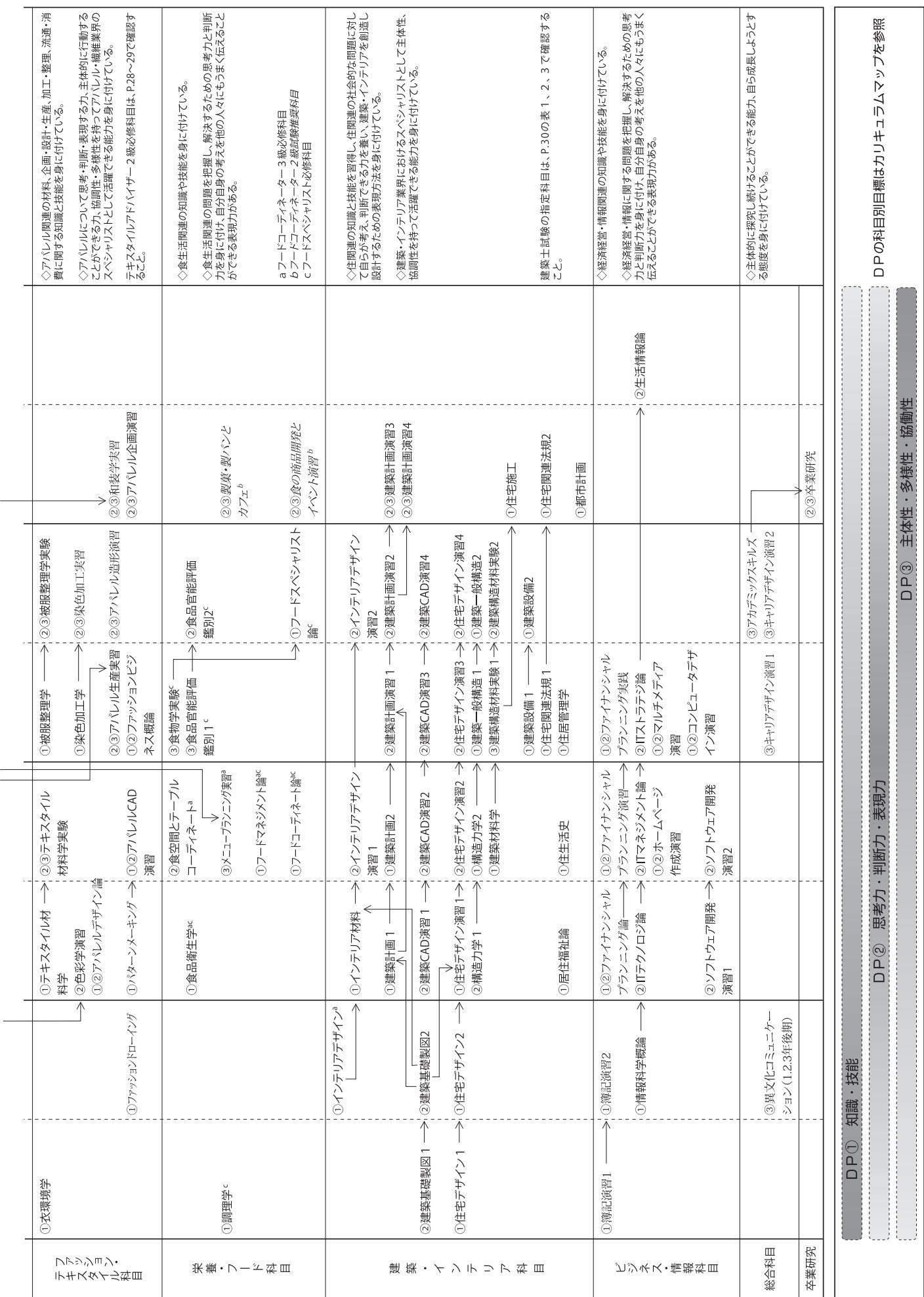
(3) シック体は資格選択科目。斜体は資格選択科目。なお、科目名に記載されているa～cは食の資格関連科目を示す。aフードコーディネーター3級、bフードコーディネーター2級、cフードスペシャリスト

(4) 資格開運の推薦科目については「履修要項」を参照のこと。

(5) 科目間の→は履修順序を示す。(逆方向の履修は控える)

ツリーの見方

科目分類	1 年			2 年			3 年			4 年			到達目標
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
人間形成	③建学のごとく ②総合女性学*	①キャリア入門*	②総合女性学*	①キャリア入門*	②総合女性学*	①キャリア入門*	②総合女性学*	①キャリア入門*	②総合女性学*	①キャリア入門*	②総合女性学*	①キャリア入門*	◇人間形成は、一般教育・芸術、外國語、情報・表現、体育・健康科目から幅広い視野に立った豊かな人間性を身に付けていく。
一般教育	①国際事情*	①日本国憲法*	①国際事情*	①日本国憲法*	①一般化學*	①生活の物理*	①心のしくみ*	①心のしくみ*	①地球環境と人間*	①哲學の方法*	①歴史に学ぶ*	①数学の世界*	◇専門科目の学修の基礎作りとなる知識や技能を身に付けていく。
全芸術	①生命のしくみ*	①心のしくみ*	①地球環境と人間*	①心のしくみ*	①生命のしくみ*	①哲學の方法*	①歴史に学ぶ*	①生活と地理*	①数学の世界*	②文学の表現と鑑賞*	①書道*	①音楽*	①書道*
外国語	①くらしの経済*	①くらしの経済*	②初年次演習	②初年次演習	②初年次演習	②初年次演習	②初年次演習	②初年次演習	②初年次演習	②初年次演習	①美術*	①美術*	①美術*
情報表現	①Basic English 1 ①総合英語 A - 1 → ②総合英語 A - 2 ①初級フランス語1* → ②初級フランス語2*	②Basic English 2 ②総合英語 B - 1 → ②総合英語 B - 2 ②初級フランス語1* → ②初級フランス語2*	②Advanced English 1 ②総合英語 B - 1 → ②総合英語 B - 2 ②初級フランス語1* → ②初級フランス語2*	②Advanced English 2 ②総合英語 B - 1 → ②総合英語 B - 2 ②初級フランス語1* → ②初級フランス語2*	①初級中国語1* → ②初級中国語2*	②中級中国語*	①初級中国語1* → ②初級中国語2*	②中級中国語*	②中級中国語*	②中級中国語*	②中級中国語*	②中級中国語*	◇生活環境の領域に関する基礎的知識や技能を身に付けていく。
体育・健康	①日本語表現法1 ①日本語表現法2	①情報処理演習1 → ①情報処理演習2 ②日本語表現法2	①日本語表現法1 → ①日本語表現法2	①日本語表現法1 → ①日本語表現法2	①健康科学*	①保育学	①健康科学*	①色彩学	①色彩学	①色彩学	①色彩学	①色彩学	◇家政学に関する基礎知識や技能を身に付けていく。
基礎科目	①健康科学*	①スポート1*	→ ③スポーツ2*	→ ③スポーツ2*	①家庭経済学 ①住居学 ①生活工学 ①情報処理概論 ①生活と環境	②家族関係学 ①色彩学	②家族関係学 ①色彩学	①色彩学	①色彩学	①色彩学	①色彩学	①色彩学	◇家政学に関する基礎知識や技能を身に付けていく。



DP① 知識・技能

DP② 思考力・判断力・表現力

DPの科目別目標はカリキュラムマップを参照

教育の基礎的理 解に関する科目等・各教科の指導法

授業科目		単位数	授業形態	配当学年								授業時間数	備考		
				必修	選択	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期		
A	教育原 理	2	講義											2	
	教 育 史	2	講義											2	
	教 師 論	2	講義											2	
	教 育 制 度 論	2	講義											2	
	教 育 心 理 学	2	講義											2	
	特 別 支 援 教 育 論	2	講義											2	
	教 育 課 程 論	2	講義											2	
B	道 德 の 指 導 法	2	講義											2	
	総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法	2	講義											2	
	特 別 活 動 の 指 導 法	2	講義											2	
	教 育 の 方 法 と 技 術 (I C T の 活 用 を 含 む)	2	講義											2	
	生 徒 指 導 の 理 論 と 方 法 (進 路 指 導 を 含 む)	2	講義											2	
	教 育 相 談 (カウンセリングを含む)	2	講義											2	
C	教 育 実 習 1	2	実習											—	
	教 育 実 習 2	2	実習											—	
	教 育 実 習 指 導	1	講義											1	
	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2	演習											4	
D	家 庭 科 教 育 法 1	2	講義											2	
	家 庭 科 教 育 法 2	2	講義											2	
	家 庭 科 教 育 法 3	2	講義											2	
	家 庭 科 教 育 法 4	2	講義											2	
	家 庭 科 A・L 指 導 法	2	講義											2	

(注) A欄は「教育の基礎的理 解に関する科目」

B欄は「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

C欄は「教育実践に関する科目」

D欄は「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」

※教育の基礎的理 解に関する科目等・各教科の指導法の修得方法は、P.43~47を参照すること。

※教育の基礎的理 解に関する科目等・各教科の指導法は、卒業に必要な単位には含めない。

(注)開講学年・時期は各年度の授業計画により変更する場合がある。

〈家政学部 教育の基礎的理解に関する科目等・各教科の指導法〉カリキュラムマップ

目標のキーワード

到達目標(学修成果目標)

DP:ディプロマポリシー

①知識・技能	①D P 1 教職に関する幅広い基礎知識と技能および、家庭科の専門的知識と技能を有し、授業の構成や教材・教具の工夫ができる。
②思考力・判断力・表現力	②D P 2 学校現場等で生じている問題や地域や社会全体に関わる課題について、適切な対応を考え議論することができ、理論と実践を結びつけることができる。
③主体性・多様性・協働性	③D P 3 教育的愛情を持って児童・生徒に接することができ、対人関係力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。

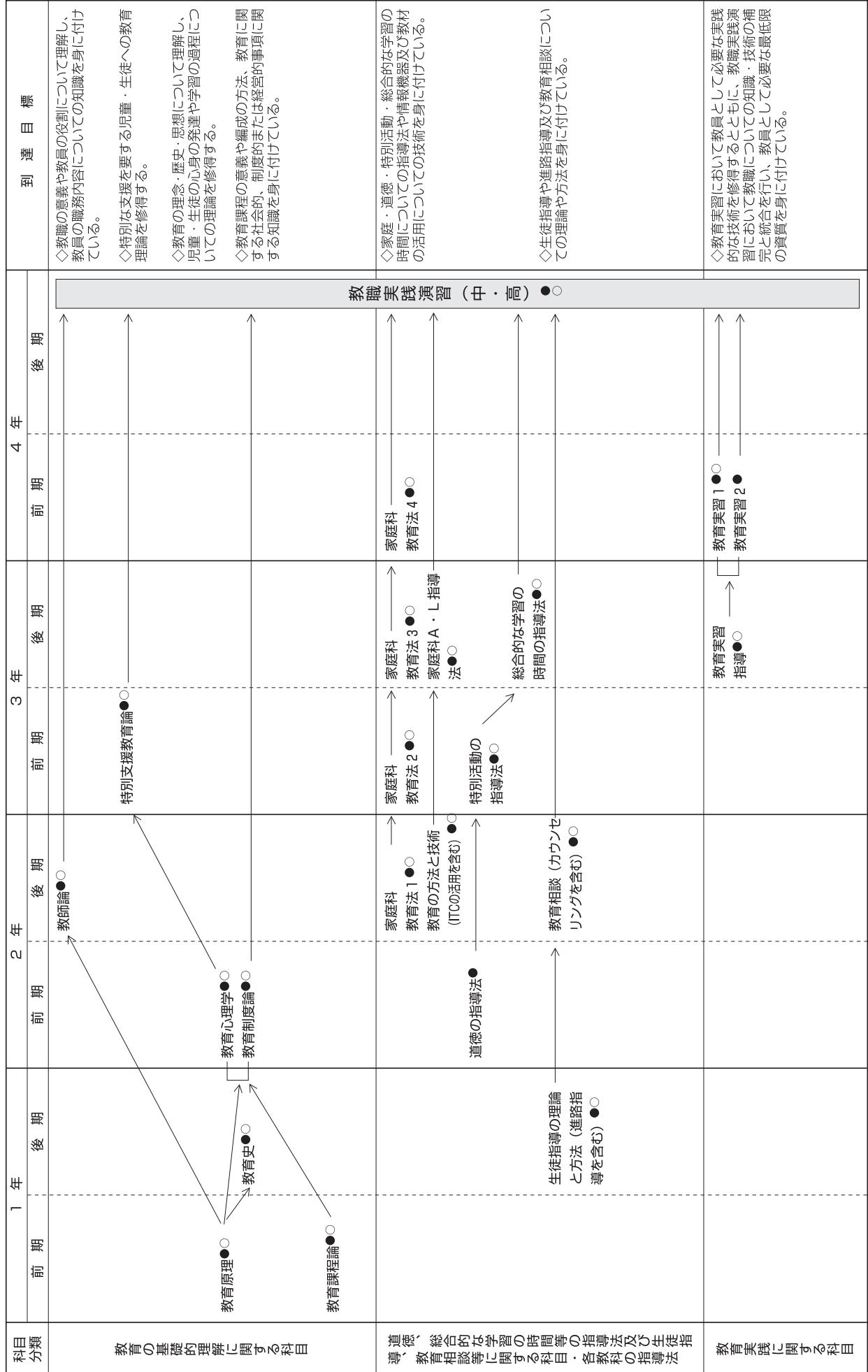
科目別目標

特に重点的に育成する能力=○、重点的に育成する能力=○

学年	期	ナンバリング	科目名	資格コード	①	②	③
1	前期	ETO 0 37 L z 01 L	教育原理	T5T6	○	○	
		ETO 0 37 L z 02 L	教育課程論	T5T6	○	○	
	後期	ETO 0 37 L z 03 L	教育史	T5T6	○		
		ETO 0 37 L z 31 L	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	T5T6	○	○	
2	前期	ETO 0 37 L z 05 L	教育制度論	T5T6	○	○	
		ETO 0 37 L z 04 L	教育心理学	T5T6	○	○	
		ETO 0 37 L z 21 L	道徳の指導法	T5	○		○
	後期	ETO 0 37 L z 06 L	教師論	T5T6		○	○
		ETO 0 37 L z 12 L	教育の方法と技術(ICTの活用を含む)	T5T6	○	○	
		ETO 0 37 L z 32 L	教育相談(カウンセリングを含む)	T5T6	○	○	
		ETO 0 37 L z 11 L	家庭科教育法1	T5T6	○	○	
3	前期	ETO 0 37 L z 07 L	特別支援教育論	T5T6		○	○
		ETO 0 37 L z 22 L	特別活動の指導法	T5T6	○		○
		ETO 0 37 L z 13 L	家庭科教育法2	T5T6	○	○	
	後期	ETO 0 37 L z 23 L	総合的な学習の時間の指導法	T5T6	○	○	○
		ETO 0 37 L z 41 L	教育実習指導	T5T6		○	○
		ETO 0 37 L z 16 M	家庭科A・L指導法	T5T6	○	○	○
		ETO 0 37 L z 14 M	家庭科教育法3	T5T6	○	○	○
4	前期	ETO 0 37 T z 42 H	教育実習1	T5T6		○	○
		ETO 0 37 T z 43 H	教育実習2	T5		○	○
		ETO 0 37 L z 08 M	家庭科教育法4	T5T6	○	○	○
	後期	ETO 0 37 E z 15 H	教職実践演習(中・高)	T5T6	○	○	○

〈家政学部 教育の基礎的理解に関する科目等・各教科の指導法〉カリキュラムツリー

ツリーの見方 ●：中学校教諭一種免許状（家庭）○：高等学校教諭一種免許状（家庭）
科目間の→は履修順序を示す。（逆方向の履修は控える）



4. 免許・資格

教員免許状

(教員免許状以外の資格については、P.30~33を参照してください。)

[1] 本学で教員免許状授与の所要資格を取得できる免許状は次のとおりです。

学 科	免 訸 状 の 種 類
生 活 環 境 学 科	中学校教諭一種免許状(家庭) 高等学校教諭一種免許状(家庭)

[2] 教員免許状を取得するためには、基礎資格(下表)を有し、「教育職員免許法及び同法施行規則」に定められた科目を履修し、所定の単位数を修得しなければなりません。

1) 免許状の種類にかかわらず「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」について、それぞれ2単位以上を修得しなければなりません。

(P.45 表1)

2) 法により免許状の種類ごとに「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「教育の基礎的理義に関する科目等」がそれぞれ規定されています。(下表)

免許状の種類ごとの履修方法をP.46 表2以降に掲載していますので、それに基づいて必要な科目及び単位数を修得してください。

免 訸 状 の 種 類	基 础 資 格	専門科目の最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理義に関する科目等
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	28	4	27
高等学校教諭一種免許状		24	12	23

(注) この表で示しているのは、法規上の最低修得単位数です。本学で必要とする単位数はP.46以降の各表に示してあります。

[3] その他

1) 教育実習の履修について

教育実習の単位修得には、「学校現場における実習」(高等学校は2単位、中学校は4単位)と「事前及び事後の指導」(1単位)が必要です。本学では、「教育実習1」「教育実習2」「教育実習指導」が該当します。

事前及び事後の指導は、授業科目「教育実習指導」のほか、ガイダンスや実習報告会等でも行いますので、必ず出席してください。4年後期開講科目「教職実践演習(中・高)」でも振返りと省察を行います。事前指導では、教育実習の意義と心構え、実習内容、実習記録の書き方、学習指導案の作成や授業づくりのポイント等を学び、事後指導では、教育実習報告会の実施、実習体験レポートの提出などを行います。

教育実習にあたって、特に注意すべき点は以下の通りです。

- ①教育実習校の決定後は、自己都合による変更はできません。
- ②実習校・当該教育委員会が示す実習要件を満たすことが必要です。
- ③教育実習は、卒業見込みの年度に実施します。
- ④所定の事前指導は、すべて受けてください。
- ⑤教育実習の目的から、それまでに開講されている必要な教職科目はすべて履修していることが原則です。
特に「教育の基礎的理解に関する科目等」が4単位以上不合格の場合は、実習が認められないことがあります。
- ⑥本学及び実習校の指示には必ず従ってください。指示に反して問題が生じた場合には、実習を中止させられることがあります。
- ⑦教育実習を履修する学生は、教育実習にかかる諸経費を所定の期間内に納める必要があります。

2) 教員免許状の授与申請について

1. 介護等体験

中学校の教員免許状の授与を受けようとする者は、特別支援学校及び社会福祉施設等その他文部科学省令で定められた施設において7日以上の障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行い、その証明書が必要です。

介護等体験を希望する者は、体験の事前事後指導を受けるとともに、介護等体験にかかる諸経費を期間内に納める必要があります。

2. 申請手続

教員免許状は、本学で一括して愛知県教育委員会に申請し、卒業式当日に交付されます。申請に必要な諸経費を所定の期間内に納める必要があります。

〔教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目〕

所要資格の取得には、免許状の種類にかかわらず、表1に掲げる科目及び単位数を修得しなければなりません。

(表1)

免許法施行規則第66条の6に定める科目区分		開設授業科目	単位数		配当学年
科目	単位数		必	選	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		1・2年後
体育	2	スポーツ1 スポーツ2	1 1		1・2年前 1・2年後
外国語コミュニケーション	2	Basic English 1 Basic English 2 総合英語A-1 総合英語A-2	1 1 1 1		1年前 1年後 1年前 1年後
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理演習1 情報処理演習2	1 1		1年前 1年後
備考	各科目区分における開設科目をそれぞれ2単位以上修得すること。				

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

生活環境学科

中一種免・高一種免（家庭）

(表2)

免許法施行規則に定める科目区分		中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状			配当学年	
科 目	単位数		開設授業科目	単位数		開設授業科目	単位数		
	中一種	高一・種		必	選		必	選	
家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1単位以上		<u>家族関係学</u> <u>家庭経済学</u> 消費生活論	2 2 2		<u>家族関係学</u> <u>家庭経済学</u> 消費生活論	2 2 2		1年後 1年前 3年前
被服学 (被服実習を含む。)	1単位以上		衣生活論 衣環境学 被服科学 <u>被服構成実習1</u> 被服構成実習2 被服整理学 被服構成学	2 2 2 1 1 2 2		衣生活論 衣環境学 被服科学 <u>被服構成実習1</u> 被服構成実習2 被服整理学 被服構成学	2 2 2 1 1 2 2		1年前 1年前 1年後 2年前 2年後 3年前 1年後
食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1単位以上		食生活論 <u>食品学総論</u> <u>栄養学</u> <u>調理学実習1</u> 調理学実習2 調理学	2 2 2 1 1 2		食生活論 <u>食品学総論</u> <u>栄養学</u> <u>調理学実習1</u> 調理学実習2 調理学	2 2 2 1 1 2		1年前 1年後 2年前 1年後 2年前 1年前
住居学	1単位以上		住居学 住生活論 建築基礎製図1 建築基礎製図2 住居管理学	2 2 1 1 2		住居学 住生活論 建築基礎製図1 建築基礎製図2 住居管理学	2 2 1 1 2		1年前 2年前 1年前 1年後 3年前
保育学	1単位以上		保育学	2		保育学	2		1年後
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8単位以上	4単位以上	家庭科教育法1 家庭科教育法2 家庭科教育法3 家庭科教育法4 家庭科A・L指導法	2 2 2 2 2		家庭科教育法1 家庭科教育法2 家庭科教育法3 家庭科教育法4 家庭科A・L指導法	2 2 2 2 2		2年後 3年前 3年後 4年前 3年後
合 計	28単位	24単位	必修を含めて28単位以上修得のこと。			必修を含めて32単位以上修得のこと。			

＊下線の引かれた授業科目は、一般的包括的な内容を含む科目です。

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

生活環境学科

中一種免・高一種免

(表3)

教員免許状
〔大学が独自に設定する科目〕

免許法施行規則に定める科目区分等			中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状			配当学年	
科目	各科目に含める必要事項		開設授業科目	単位数		備考	開設授業科目	単位数		配当学年
	中一種	高一種		必	選			必	選	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2			教育原理	2		1年前
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む)		教育史		2		教育史		2	1年後
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教師論	2			教師論	2		2年後
	・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育制度論	2			教育制度論	2		2年前
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学	2			教育心理学	2		2年前
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育論	2			特別支援教育論	2		3年前
			教育課程論	2			教育課程論	2		1年前
生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び相談等の時間等の指導法	・道徳の理論及び方法		道徳の指導法	2		中免のみ				2年前
	・総合的な学習(探求)の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	2			総合的な学習の時間の指導法	2		3年後
	・特別活動の指導法		特別活動の指導法	2			特別活動の指導法	2		3年前
	・教育の方法及び技術		教育の方法と技術(ICTの活用を含む)	2			教育の方法と技術(ICTの活用を含む)	2		2年後
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法									
	・生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2			生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)	2		1年後
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む)	2			教育相談(カウンセリングを含む)	2		2年後
科目教育実践に関する	・教育実習		教育実習1	2			教育実習1	2		4年前
			教育実習2	2		中免のみ				4年前
			教育実習指導	1			教育実習指導	1		3年後
	・教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2			教職実践演習(中・高)	2		4年後
合計			27単位	23単位	必修を含めて31単位以上修得のこと。			必修を含めて27単位以上修得のこと。		

〔大学が独自に設定する科目〕

生活環境学科

中一種免・高一種免

(表4)

免許法施行規則に定める科目区分			中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状		
科 目	単位数							
	中一種	高一種						
大学が独自に設定する科目	4単位	12単位	「大学が独自に設定する科目」は、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の合計単位数でもって充足されます。 したがって、 <u>「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、中一種、高一種ともに、合計59単位以上修得しなければなりません。</u>					

児童教育学部

1. ディプロマポリシー（学位授与の方針）

児童教育学部

児童教育学部のディプロマ・ポリシーは、「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つのカテゴリーで構成されています。学科が定める所定の単位を取得し、教育・保育の分野における専門性、学士力、豊かな人間性や社会性、およびコミュニケーション力を備え、教育や保育の分野において社会で貢献できる資質を身に付けた者に、学位を授与します。

児童教育学科

1. 達成目標

子どもにかかわる社会的・教育的・保育的背景を広く学び、コミュニケーション力や教育・保育の理論と時代の変化に対応できる実践力を身に付け、教育・保育に関わる専門的知識や技能、高い教養に裏打ちされた豊かな人間性や社会性、高度な指導力や地域貢献力を備えた職能人（幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・保育士）として社会に貢献できる人材となること。

2. 学修成果

「学士」を授与される学生は、以下のような知識や能力を有します。

- 教育と保育の理論に関する知識および豊かな人間性を基盤として、子どもの成長を支援する実践力を身に付けていること。
- 主体性および協調性、協働の基盤となるコミュニケーション力を備え、自らの成長に創造的に向き合う態度を身に付けていること。

2. カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

児童教育学部

児童教育学部は、建学の精神であり、学園の信条である「親切」を根幹としています。したがって、教育課程では、「個々の人格を陶冶し、かつ高い教養を身に纏つた、よき家庭人であり力強き職能人としての女性を育成する」ことを目的としています。この目的を達成するため、第一に、学士力向上を目標として教養科目、外国語科目などを全学共通で設け、幅広い視野に立った豊かな人間性を育成しています。第二に、教育・保育の分野を中心とした豊かな専門知識に支えられ、時代の変化に対応できるコミュニケーション力に基づく優れた実践力と教育への深い見識を備えた職能人を育成するため、必要な専門科目を設け、それらが有機的連携を保ちつつ、体系的な教育課程を実現しています。学部全体では、コミュニケーション力を有し、教育や保育の分野において社会貢献できる人材を育てるための教育課程を編成しています。

児童教育学科

1. 人材育成目標

主体性と協調性、高いコミュニケーション力で創造的に課題解決に向き合える態度を有し、教育・保育の分野における豊かな専門知識や実践的技能に加え、豊かな人間性や社会性、高度な指導力や地域貢献力を備えた職能人（幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・保育士）を育成します。

2. 教育課程の編成目標

(1) GPA

GPAを活用して、学修成果を振り返りながら学生指導を行います。

(2) 共通科目・入門的専門科目的設定・充実

幅広い教養・コミュニケーション力の基盤を身に付けるために、「人間形成」「一般教育」「芸術」「外国語」「情報・表現」「体育・健康」のカテゴリーに分かれた全学共通科目を配置しています。大学生活における目標を見定めるとともに主体性と協調性を基盤とする課題解決力の基礎を身に付けるために、大学での学びの導入としての入門的専門科目（教育・保育基礎演習）を1年次に配置しています。

(3) 履修科目群の具体化

下記6領域において理論と実践を関連させながら高度な専門性を養うため基礎から専門に至る科目を体系的に配しており、カリキュラムマップによって教育課程の体系性、科目間の関連を分かりやすく示しています。

- ①自己の教育観・保育観を形成する上で必要な教育の基礎理論になる科目、自ら課題を発見し、問題の解決方法を創造的に探求する能力を開発する演習科目、および保育の本質・目的に関わる科目の配置
- ②教育と保育の理論と内容に関する科目、教育学・心理学分野を中心に教育の理論面を幅広く学ぶ科目、幼稚園の領域に関する専門的事項を学ぶ科目、保育の対象を理解するための科目の配置
- ③教育と保育の実践を支える科目、小学校における各教科の教育法・指導法に関する科目、保育の内容・方法に関する科目の配置
- ④中学校における国語科の教育法・指導法および理論と内容に関する科目、幼稚園・小学校・保育所における国語教育に対応できる科目の配置

- ⑤教育実習およびその他の社会での教育活動を奨励する科目的配置
⑥小学校における外国語および外国語活動、幼稚園・中学校・保育所における国際理解教育に対応できる科目的配置

(4) 専門科目群

- 教育と保育の基礎理論となる科目(必修3科目、選択20科目:講義17科目、演習6科目)
- 教育と保育の理論と内容に関する科目(選択50科目:講義27科目、演習23科目)
- 教育と保育の実践を支える科目(選択29科目:演習29科目)
- 国語教育を支える科目(選択26科目:講義22科目、演習4科目)
- 実地教育に関わる科目(選択28科目:講義5科目、演習12科目、実習11科目)
- 初等英語教育を支える科目(選択5科目:講義1科目、演習2科目、実習2科目)

3. 学修成果測定

- ループリックを用いたパフォーマンス評価による学修成果の可視化
- G P A および単位取得状況による学修成果の達成状況の確認
- 学修ポートフォリオおよび教職履修カルテによる学修成果の蓄積と確認
- 保育・教育に関わる専門知識・技能に関する卒業論文(論文・作品製作・演奏等)の審査

4. 学修環境

学修成果を生み出すために以下のような学修環境を提供します。

- 実習、プレゼンテーション、プロジェクト学習(PBL)、ディベートなどのアクティブラーニングの実施
- 海外スクールインターンシップ
- 少人数教育を重視した教育(ゼミナール)
- 演習を通じた内容の深い理解・体験
- 基礎スキル育成のための入門的な科目(教育・保育基礎演習、情報、日本語、外国語)

特に、講義・演習・実習という科目を通じて、理論と実践を有機的に関連させながら、内容への理解を深めるとともに高い実践力を獲得させ、高度な専門性を身に付けさせます。

3. 教育課程について

全学共通科目

■児童教育学部開講科目

授業科目		単位数		授業形態	配当学年								授業時間数	中免一 小免一 幼免一 保育士	備考	
					1年	2年	3年	4年	前	後	前	後				
		必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
科人間形成	建学のこころ	1	講義										—			
	総合女性学	2	講義										2			
	キャリア入門	2	講義										2			
一般教育科目	哲学の方法	2	講義										2			
	心のしくみ	2	講義										2			
	文学の表現と鑑賞	2	講義										2			
	歴史に学ぶ	2	講義										2			
	国際事情	2	講義										2			
	日本国憲法	2	講義										2	○	○	○
	くらしの経済	2	講義										2			
	生活と地理	2	講義										2			
	数学の世界	2	講義										2			
	一般化学	2	講義										2			
	生命のしくみ	2	講義										2			
	生活の物理	2	講義										2			
	地球環境と人間	2	講義										2			
	初年次セミナー	2	講義										2			
	初年次演習	1	演習										2			
芸術科目	音楽	1	演習										2			
	美術	1	演習										2			
	書道	1	演習										2			
外国語科目	Basic English 1	1	演習										2	○	○	○
	Basic English 2	1	演習										2	○	○	○
	Advanced English 1	1	演習										2			
	Advanced English 2	1	演習										2			
	総合英語 A - 1	1	演習										2	○	○	○
	総合英語 A - 2	1	演習										2	○	○	○
	総合英語 B - 1	1	演習										2			
	総合英語 B - 2	1	演習										2			
	初級フランス語 1	1	演習										2			
	初級フランス語 2	1	演習										2			
	中級フランス語	1	演習										2			
	初級中国語 1	1	演習										2			
	初級中国語 2	1	演習										2			
	中級中国語	1	演習										2			
表現科目	情報処理演習 1	1	演習										2	○	○	○
	情報処理演習 2	1	演習										2	○	○	○
	日本語表現法 1	1	演習										2	○		
	日本語表現法 2	1	演習										2	○		
健体育	健康科学	2	講義										2			○
	スポーツ 1	1	実技										2	○	○	○
	スポーツ 2	1	実技										2	○	○	○

必修3単位を含めて9単位以上修得すること

必修8単位を含めて10単位以上修得すること

1単位以上修得すること

(注) 1. 教員免許状（中免一種、小免一種、幼免一種）を取得するためには、○印〈必修〉の単位を修得すること。

2. 保育士資格を取得するためには、○印〈必修〉、○印〈選択〉の単位を修得すること。

3. 開講学年・時期は各年度の授業計画により変更する場合がある。

4. 「初級フランス語2」または「初級中国語2」は、「初級フランス語1」または「初級中国語1」を履修していないと履修できません。また「初級フランス語1」または「初級中国語1」が「失格」または「不合格」になった場合は、「初級フランス語2」または「初級中国語2」は履修できません。

5. 「中級フランス語」「中級中国語」は、「初級フランス語2」「初級中国語2」の単位を修得していないと履修できません。

(1) 教育目的について

子どもに関わる社会的・教育的・保育的背景を広く学び、教育・保育の理論と時代の変化に対応できるコミュニケーション力や実践力を身に付け、高い教養と専門性をもって、社会に貢献できる職能人としての教育者・保育者(幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・保育士)の育成を目的としています。教育・保育に関わる専門的な知識や技能に加えて、豊かな人間性や社会性を身に付け、高度な指導力や地域貢献力を備えた教育者・保育者を育成します。

(2) 授業科目について

児童教育学科は、上で述べたように子どもの成長に関わる有能な教育者・保育者(幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・保育士)を養成することを目的としています。したがって、本学科の学生には、将来の専門職への自覚を持って履修計画を立てること、卒業論文演習や卒業論文に代表される主体的に学ぶ機会を積極的に利用することを含め、常に継続的で勤勉な学習態度が要求されます。これらの蓄積を基盤にして、幼稚園・小学校・中学校での教育実習、保育所・施設での保育実習や介護等体験において実践的な学びが実現することになります。

人間的基礎力を養う豊かなカリキュラムには、1)教育と保育の基礎理論となる科目、2)教育と保育の理論と内容に関する科目、3)教育と保育の実践を支える科目、4)国語教育を支える科目、5)実地教育に関する科目、6)初等英語教育を支える科目の6領域が設けられています。

- 1)の領域は、自分自身の教育観・保育観を形成する上で必要な基礎理論になる科目と、自ら課題を発見し、問題の解決方法を創造的に探究する能力を開発する演習科目とで構成されており、幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・保育士にむけての素地を作る科目を配しました。
 - 2)の領域は、児童教育・幼児教育の理論と内容を幅広く学べるように科目を充実させ、教育者・保育者として豊かな能力を身につけられるように構成された科目群を配しました。
 - 3)の領域は、幼稚園・小学校・保育所における教育・保育の指導法を中心に配し、情報関連科目も充実させて教育者・保育者としての基礎的実践力を身につけられるように配慮された科目群を配しました。
 - 4)の領域は、中学校における国語科の教育法・指導法および理論と内容に関する科目、幼稚園・小学校・保育所における国語教育に対応できる科目を設定し、国語に基づく文章理解・作成の能力および国語を通じた日本文化理解の力を養うことができるように科目群を配しました。
 - 5)の領域は、教育・保育実習およびその他の社会での教育・保育活動を奨励する科目を設定し、実践力を高めるとともに地域社会に貢献できる姿勢や態度が育成できるよう配慮された科目群を配しました。
 - 6)の領域は、小学校における外国語および外国語活動、幼稚園・中学校・保育所における国際理解教育・早期英語教育に対応できる科目を設定し、英語によるコミュニケーションの基礎的実践力を養うことができるように配慮された科目を配しました。
- 本学科のカリキュラムの特徴は、児童教育を中心とし小学校と幼稚園・中学校・保育所との連携を意識し、幼児から児童に至る教育・保育上の理論面と実践面とを合わせて学ぶところにあります。

(3) 教育課程について

児童教育学科 専門科目

授業科目	単位数 必修 選択 修	授業形態	配当学年								授業時間数	免許・資格				小中履修モード 小幼履修モード 幼保履修モード	備考	
			1年		2年		3年		4年			中一種	小一種	幼一種	保育士			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
教育と保育の基礎理論となる科目	教育原理 I	2	講義								2	○	○	○	○	○	○	
	教育原理 II	2	講義								2	△	△	△	△	○	○	
	教師論	2	講義								2	○	○	△	○	○	○	
	教職入門	2	講義								2	○	○	○		○	○	
	教育心理学	2	講義								2	○	○	○	△	○	○	
	道徳教育の理論と方法	2	講義								2	○	○			○	○	
	ICT活用の理論と方法	1	演習								2	○	○			○	○	
	教育の方法と技術	1	演習								2	○	○	○		○	○	
	教育制度論	2	講義								2	☆	☆	☆		○	○	
	教育社会学	2	講義								2	☆	☆	☆		○	○	
	教育課程論	2	講義								2	○	○	○		○	○	
	保育の計画と評価	2	講義								2				○		○	
	教育史	2	講義								2	△	△	△	△	○	○	
	特別支援教育論	2	講義								2	○	○	○	△	○	○	
	教育・保育基礎演習	1	演習								2					○	○	
教育と保育の内容に関する科目	実践課題研究 I	1	演習								2					○	○	
	実践課題研究 II	1	演習								2					○	○	
	保育原理 I	2	講義								2			○		○		
	保育原理 II	2	講義								2			△		○		
	子ども家庭福祉 I	2	講義								2			○		○		
	子ども家庭福祉 II	2	演習								2			△		○		
	社会福祉 I	2	講義								2			○		○		
	社会福祉 II	2	講義								2			△		○		
	生徒指導論	2	講義								2	○	○			○	○	
	進路指導論	2	講義								2	○	○			○	○	
	教育相談(カウンセリングを含む)	2	講義								2	○	○	○		○	○	
	保育・教職実践演習(幼・小・中)	2	演習								2	○	○	○	○	○	○	
	専門基礎科目 I (理科系)	2	講義								2					○	○	
	専門基礎科目 II (社会系)	2	講義								2					○	○	
	専門基礎科目 III (数学系)	2	講義								2					○	○	
教育と保育の理論と内容に関する科目	国語	2	講義								2	○	☆			○	○	
	書道	1	演習								2	○				○	○	
	社会 A	2	講義								2	☆				○	○	
	社会 B	2	講義								2	☆				○	○	
	算数	2	講義								2	○	☆			○	○	
	理科 A	2	講義								2	☆				○	○	
	理科 B	1	演習								2	☆				○	○	
	理科 C	1	演習								2	☆				○	○	
	生活	2	講義								2	○	☆			○	○	
	音楽演習 I	2	演習								2	☆				○	○	
	音楽演習 II	2	演習								2	☆				○	○	
	音楽演習 III	1	演習								2			△		○		
	基礎造形	2	演習								2	○	☆			○	○	
	造形演習	1	演習								2			△		○		
	体育	2	講義								2	☆	☆			○	○	
	体育演習	2	演習								2	☆				○	○	
	家庭	2	講義								2	○				○	○	
	外国語(英語)演習 I	2	演習								2	○				○	○	
	外国語(英語)演習 II	2	演習								2	○				○	○	
	特別活動の理論と方法	2	講義								2	○	○			○	○	
	総合的学習の理論と方法	2	講義								2	○	○			○	○	
	幼児と健康	1	講義								1		○			○	○	
	幼児と人間関係	1	講義								1		○			○	○	
	幼児と環境	1	講義								1		○			○	○	
	幼児と言葉	1	講義								1		○			○	○	
	幼児と表現	1	講義								1		○			○	○	

授業科目	単位数	授業形態	配当学年								授業時間数	免許・資格				小中履修モデル	幼保履修モデル	小中履修モデル	備考	
			1年		2年		3年		4年			中一種	小一種	幼一種	保育士					
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期					
教育と保育の理論と内容に関する科目	幼児理解の理論と方法	2	演習								2			○ △		○ ○				
	子どもの理解と援助	1	演習								2			☆ ○		○ ○				
	保育の心理学	2	講義	■							2			☆ ○		○ ○				
	子ども家庭支援の心理学	2	講義		■						2			○		○				
	臨床心理学	2	演習							■	2			△		○				
	社会的養護 I	2	講義	■							2			○		○				
	社会的養護 II	1	演習		■						2			○		○				
	子どもの保健	2	講義								2			○		○				
	子どもの健康と安全	1	演習			■					2			○		○				
	子どもの食と栄養	2	演習				■				2			○		○				
	子ども家庭支援論	2	講義					■			2			○		○				
	子育て支援	1	演習					■			2			○		○				
	保育内容総論 I	1	演習	■							2			○ ○		○ ○				
	保育内容総論 II	1	演習							■	2			△		○ ○				
	乳児保育 I	2	講義		■						2			○		○				
	乳児保育 II	1	演習			■					2			○		○				
	障害児保育	2	演習				■				2			☆ ○		○ ○				
教育と保育の実践を支える科目	子どもの科学実験指導法	2	演習			■					2					○ ○ ○ ○				
	国語科教育法（書写を含む。）	2	演習					■			2			○		○ ○ ○ ○				
	外国語科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	社会科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	算数科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	理科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	生活科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	音楽科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	図画工作科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	家庭科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	体育科教育法	2	演習								2			○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（健康）I	1	演習		■						2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（健康）II	1	演習			■					2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（人間関係）I	1	演習		■						2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（人間関係）II	1	演習			■					2			○ ○		○ ○ ○ ○				
国語教育を支える科目	保育内容演習（環境）I	1	演習		■						2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（環境）II	1	演習			■					2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（言葉）I	1	演習		■						2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（言葉）II	1	演習			■					2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（表現）A I	1	演習		■						2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（表現）A II	1	演習			■					2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（表現）B I	1	演習		■						2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（表現）B II	1	演習			■					2			○ ○		○ ○ ○ ○				
	保育内容演習（遊びと文化）	2	演習				■				2			△		○ ○ ○ ○				
	保育内容の理解と方法（言語表現）	2	演習	■							2			☆ ○		○ ○ ○ ○				

授業科目		単位数	授業形態	配当学年								授業時間数	免許・資格				小中履修モデル	小幼履修モデル	幼稚園モデル	備考	
				1年		2年		3年		4年			中一種	小一種	幼一種	保育士					
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
国語教育を支える科目	作文指導論	2	講義									2	△				○				
	読書指導論	2	講義									2	△				○				
	日本文学概論	2	講義									2	○				○				
	日本文学史Ⅰ	2	講義			■						2	○				○				
	日本文学史Ⅱ	2	講義			■						2	○				○				
	日本の文學Ⅰ	2	講義				■					2	☆				○				
	日本の文學Ⅱ	2	講義				■					2	☆				○				
	日本文学演習	2	演習					■				2	△				○				
	漢字表現	2	講義				■					2	△				○				
	漢文美学	2	講義					■				2	○				○				
	書道(書写を中心とする)	2	演習			■						2	○				○				
	日本語文章論	2	講義					■				2					○				
	日本文化概論	2	講義			■						2					○				
	コミュニケーション論	2	講義			■						2					○				
	日本語スピーチクリニック	2	演習				■					2					○				
	比較文学	2	講義					■				2					○				
実地教育に関わる科目	教育実習(中)	4	実習					■				—	○				○				
	教育実習指導(中)	1	講義					■				1	○				○				
	教育実習(小)	4	実習					■				—	☆				○				
	教育実習指導(小)	1	講義				■				1	☆				○					
	教育実習(幼・小)	4	実習				■				—	☆☆				○					
	教育実習指導(幼・小)	1	講義				■				1	☆☆				○					
	教育実習(幼)I	4	実習				■				—	☆				○					
	教育実習指導(幼)I	1	講義				■				1	☆				○					
	教育実習(幼)II	2	実習				■				—	△				○					
	教育実習指導(幼)II	1	講義				■				1	△				○					
	介護等体験	1	実習								—	○○				○○					
	教育内容演習I	1	演習					■				2					○○				
	教育内容演習II	1	演習					■				2					○○				
	社会活動実習	1	実習					■				—					○○○○				
	卒業論文演習I	1	演習					■				1					○○○○				
	卒業論文演習II	1	演習					■				1					○○○○				
	卒業論文演習III	1	演習					■				1					○○○○				
	卒業論文	6	演習					■				6					○○○○				
支初等英語目教育を	保育実習IA	2	実習					■				—					○				
	保育実習IB	2	実習					■				—					○				
	保育実習指導IA	1	演習				■				2					○					
	保育実習指導IB	1	演習				■				2					○					
	保育実習II	2	実習				■				—					○					
	保育実習指導II	1	演習				■				2					○					
	保育実習III	2	実習				■				—	△				○					
	保育実習指導III	1	演習				■				2	△				○					
	幼児保育総合演習I	1	演習				■				2					○					
	幼児保育総合演習II	1	演習				■				2					○					
支初等英語目教育を	外国語(英語)演習III	2	演習				■				2					○○					
	外国語(英語)演習IV	1	演習				■				2					○○					
	異文化理解論	2	講義				■				2					○○					
	海外スクールインターンシップ	4	実習				■				—					○○○○					
	海外語学実習	2	実習				■				—					○○○○					

(注)1. 免許・資格欄の○印は、「中学校教諭一種免許状」「小学校教諭一種免許状」「幼稚園教諭一種免許状」「保育士資格」それぞれの取得に必要な必修科目。

△印は選択科目。☆印は、選択必修科目。

2. 履修モデル欄の○印は、それぞれのモデルに関連する科目。

3. 開講学年・時期は各学年度の授業計画により変更する場合がある。

4. 「実践課題研究II」は、「実践課題研究I」を履修していないと履修できません。また「実践課題研究I」が「失格」または「不合格」になった場合は、「実践課題研究II」は履修できません。

5. 「教育原理II」は、「教育原理I」の単位を修得していないと履修できません。

6. 実習は、対応する実習指導を履修していないと履修できません。

7. 「社会活動実習」のボランティア・インターンシップの活動時間数は、在学期間を通して実習1単位に必要な授業時間数、合計2025分(45分×45)以上とします。卒業学年次に「社会活動実習」の履修登録をしたうえで、学生支援センター数学支援オフィスへ別途単位認定の申請書類を提出してください。

〈児童教育学科〉カリキュラムマップ

目標のキーワード

到達目標(学修成果目標)

DP:ディプロマポリシー

①知識・理解	① DP1 児童・生徒・幼児を対象とした教育・保育の現状と課題を理解し、社会のグローバル化や保幼小連携および小・中連携等を視野に入れつつ、これからの教育者・保育者に求められる専門的知識を習得する。
②思考力・判断力・表現力	② DP2 豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力を基盤とし、複雑に変化し続ける教育・保育現場にも対応しうる深い思考・判断・表現の力および高度な指導力を身に付ける。
③主体性・多様性・協働性	③ DP3 子どもの成長に寄与する職能人として、主体性や協調性を大切にしながら、様々な問題の解決に向けて創造的かつ協働的に向き合う態度を身に付ける。

科目別目標

全学共通科目

特に重点的に育成する能力=○、重点的に育成する能力=○

学年	期	ナンバリング	科目名	資格コード	①	②	③
1	前期	UA0 0 00 L 1 01 Z	建学のこころ		○	○	○
		UA0 0 83 E 4 01 L	Basic English 1	N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	○
		UA0 0 83 E 4 05 L	総合英語A-1	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	○
		UA0 0 54 E 5 01 L	情報処理演習1	H1J1J2N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	○
		UA0 0 81 E 5 03 L	日本語表現法1	T4	○	○	○
		UA0 0 37 L 2 14 L	初年次セミナー		○	○	○
		LC0 0 37 L a 01 L	教育原理I	H1T1T3T4	○	○	
		LC0 0 37 E a 31 L	教育・保育基礎演習		○	○	○
		LC0 0 37 L a 41 L	保育原理I	H1	○	○	○
		LC0 0 40 L b 71 L	専門基礎科目I(理科系)		○	○	○
		LC0 0 37 L b 51 L	保育の心理学	H1T1	○	○	○
		LC0 0 49 L b 64 M	子どもの保健	H1	○	○	○
		LC0 0 37 E b 53 L	保育内容総論I	H1T1	○	○	○
		LC0 0 81 L d 11 L	日本語学概論(日本語音声学を含む)	T4	○	○	○
		LC0 0 91 L d 31 L	日本文学概論	T4	○	○	○
		LC0 0 38 L d 51 L	日本文化概論		○	○	○
1・2	後期	UA0 0 33 L 2 05 L	国際事情		○	○	○
		UA0 0 33 L 2 07 L	くらしの経済		○	○	○
		UA0 0 43 L 2 10 L	一般化学		○	○	○
		UA0 0 46 L 2 11 L	生命のしくみ		○	○	○
		UA0 0 85 E 4 09 L	初級フランス語1		○	○	○
		UA0 0 82 E 4 12 L	初級中国語1		○	○	○
		UA0 0 49 L 6 01 L	健康科学	H1N2	○	○	○
		UA0 0 78 P 6 02 L	スポーツ1	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	○
		LC0 0 37 E b 22 L	音楽演習I	T3	○	○	○
		LC0 0 37 E b 23 L	基礎造形	T1T3	○	○	○
1	通年	LC0 0 83 E b 24 L	外国語(英語)演習I	T3	○	○	○
		LC0 0 37 E c 62 L	保育内容の理解と方法(言語表現)	H1T1	○	○	○
		LC0 0 37 E c 63 M	保育内容の理解と方法(音楽表現)I	H1	○	○	○
		LC0 0 37 E c 65 M	保育内容の理解と方法(造形表現)	H1	○	○	○
		UA0 0 83 E 4 02 L	Basic English 2	N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	○
		UA0 0 83 E 4 06 L	総合英語A-2	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	○
		UA0 0 54 E 5 02 L	情報処理演習2	H1J1J2N2N3T1T3T4T5T6T7	○	○	○
		UA0 0 81 E 5 04 L	日本語表現法2	T4	○	○	○
		UA0 0 37 E 2 15 L	初年次演習		○	○	
		LC0 0 37 L a 11 L	教職入門	T1T3T4	○	○	○
		LC0 0 42 L b 11 M	理科A	T3	○	○	○
		LC0 0 37 L b 21 M	生活	T1T3	○	○	○
		LC0 0 37 L b 31 L	幼児と健康	T1	○	○	○
		LC0 0 37 L b 32 L	幼児と人間関係	T1	○	○	○
		LC0 0 37 L b 33 M	幼児と環境	T1	○	○	○

学年	期	ナンバリング						科目名	資格コード	①	②	③		
1	後期	LC0	0	37	L	b	34	L	幼児と言葉	T1	◎	○	○	
		LC0	0	37	L	b	35	L	幼児と表現	T1	◎	○	○	
		LC0	0	36	L	b	63	L	子ども家庭支援の心理学	H1	◎	○	○	
		LC0	0	36	L	b	61	L	社会的養護I	H1	◎	○	○	
		LC0	0	91	L	d	21	L	日本文学史I	T4	◎	○	○	
		LC0	0	72	E	d	45	L	書道(書写を中心とする)	T4	○	◎	○	
		LC0	0	80	L	d	52	L	コミュニケーション論		○	◎	○	
1・2	後期	UA0	0	36	L	1	02	M	総合女性学		◎	○	○	
		UA0	0	36	L	1	03	L	キャリア入門		◎	○	○	
		UA0	0	14	L	2	02	L	心のしくみ		◎	○	○	
		UA0	0	32	L	2	06	L	日本国憲法	N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	○	
		UA0	0	42	L	2	12	L	生活の物理		◎	○	○	
		UA0	0	45	L	2	13	L	地球環境と人間		◎	○	○	
		UA0	0	85	E	4	10	L	初級フランス語2		◎	◎	○	
		UA0	0	82	E	4	13	L	初級中国語2		◎	◎	○	
		UA0	0	78	P	6	03	L	スポーツ2	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	◎	○	
1～4		LC0	0	37	T	f	01	H	海外スクールインターンシップ		○	○	○	
1～4		LC0	0	80	T	f	02	H	海外語学実習		○	○	○	
2	前期	UA0	0	83	E	4	03	M	Advanced English 1		◎	○	○	
		UA0	0	83	E	4	07	M	総合英語B－1		◎	○	○	
		LC0	0	37	L	a	12	L	教師論	H1T1T3T4	◎	○	○	
		LC0	0	37	L	a	13	L	教育心理学	H1T1T3T4	◎	○	○	
		LC0	0	37	E	a	32	L	実践課題研究 I		○	○	○	
		LC0	0	30	L	b	72	L	専門基礎科目II(社会系)		◎	○	○	
		LC0	0	37	L	b	13	L	国語	T1T3	◎	○	○	
		LC0	0	46	E	b	12	L	理科B	T3	◎	○	○	
		LC0	0	36	E	b	62	M	社会的養護II	H1	◎	○	○	
		LC0	0	49	E	b	67	M	子どもの健康と安全	H1	◎	○	○	
		LC0	0	37	L	b	41	L	乳児保育I	H1	◎	○	○	
		LC0	0	37	E	c	11	L	保育内容演習(健康) I	H1T1	◎	○	○	
		LC0	0	37	E	c	21	L	保育内容演習(人間関係) I	H1T1	◎	○	○	
		LC0	0	37	E	c	31	M	保育内容演習(環境) I	H1T1	◎	○	○	
		LC0	0	37	E	c	41	L	保育内容演習(言葉) I	H1T1	◎	○	○	
		LC0	0	37	E	c	51	L	保育内容演習(表現) A I	H1T1	◎	○	○	
		LC0	0	37	E	c	52	L	保育内容演習(表現) B I	H1T1	◎	○	○	
2・3	前期	LC0	0	37	L	d	01	L	中学国語科教育法 I	T4	○	○	○	
		LC0	0	81	L	d	41	L	日本語史	T4	○	○	○	
		LC0	0	91	L	d	22	L	日本文学史II	T4	○	○	○	
		LC0	0	37	E	e	51	H	保育実習指導 I A	H1	○	○	○	
		UA0	0	11	L	2	01	L	哲学の方法		◎	○	○	
		UA0	0	91	L	2	03	L	文学の表現と鑑賞		◎	○	○	
2	通年	UA0	0	29	L	2	08	L	生活と地理		◎	○	○	
		UA0	0	76	E	3	01	L	音楽		◎	○	○	
		UA0	0	85	E	4	11	M	中級フランス語		◎	○	○	
		UA0	0	82	E	4	14	M	中級中国語		◎	○	○	
		LC0	0	37	E	b	25	M	音楽演習II	T3	○	○	○	
		LC0	0	37	E	b	26	L	体育演習	T3	○	○	○	
		LC0	0	83	E	b	27	L	外国語(英語)演習II	T3	○	○	○	
		LC0	0	37	E	b	52	M	幼児理解の理論と方法	H1T1	○	○	○	
2	後期	LC0	0	37	E	c	01	L	子どもの科学実験指導法		○	○	○	
		LC0	0	37	E	c	61	L	保育内容の理解と方法(身体表現)	H1	○	○	○	
		LC0	0	37	E	c	64	M	保育内容の理解と方法(音楽表現) II	H1	○	○	○	
		LC0	0	37	T	e	01	H	介護等体験	T3T4	○	○	○	
		UA0	0	83	E	4	04	M	Advanced English 2		○	○	○	
		UA0	0	83	E	4	08	M	総合英語B－2		○	○	○	
		LC0	0	37	L	a	21	L	道德教育の理論と方法	T3T4	○	○		
		LC0	0	37	E	a	23	L	ICT活用の理論と方法	T3T4	○	○	○	

学年	期	ナンバリング						科目名	資格コード	①	②	③	
2	後期	LC0	0	37	L	a	14	L	特別支援教育論	H1T1T3T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	a	33	M	実践課題研究Ⅱ		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		LC0	0	36	L	a	44	M	子ども家庭福祉I	H1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	41	L	b	73	L	専門基礎科目Ⅲ(数学系)		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	43	E	b	14	L	理科C	T3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	b	01	L	特別活動の理論と方法	T3T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	b	42	M	乳児保育Ⅱ	H1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	12	L	保育内容演習(健康)Ⅱ	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	22	L	保育内容演習(人間関係)Ⅱ	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	32	M	保育内容演習(環境)Ⅱ	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	42	L	保育内容演習(言葉)Ⅱ	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	53	M	保育内容演習(表現)AⅡ	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	54	M	保育内容演習(表現)BⅡ	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	d	02	L	中学国語科教育法Ⅱ	T4	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	81	L	d	12	L	日本語学研究	T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	91	L	d	32	L	日本の文学I	T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	81	L	d	46	L	漢字表現	T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	80	E	d	53	L	日本語スピーチクリニック		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	e	12	H	教育実習指導(幼)Ⅱ	T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	e	53	H	保育実習指導I B	H1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2・3		UA0	0	21	L	2	04	L	歴史に学ぶ		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		UA0	0	41	L	2	09	L	数学の世界		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		UA0	0	72	E	3	02	L	美術		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		UA0	0	72	E	3	03	L	書道		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	前期	LC0	0	37	L	a	15	L	教育課程論	T1T3T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		LC0	0	37	L	a	43	M	保育の計画と評価	H1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	36	L	a	42	L	社会福祉I	H1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	b	91	M	造形演習	H1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	b	28	M	家庭	T3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	b	54	M	子どもの理解と援助	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	36	E	b	66	M	子育て支援	H1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	d	03	L	中学国語科教育法Ⅲ	T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	81	L	d	13	M	日本語学講義	T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	81	L	d	42	M	日本語文法論	T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	91	L	d	33	M	日本の文学Ⅱ	T4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	e	31	H	教育実習指導(小)	T3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	e	21	H	教育実習指導(幼・小)	T1T3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	L	e	11	H	教育実習指導(幼) I	T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	T	e	14	H	教育実習(幼)Ⅱ	T1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	T	e	52	H	保育実習I A	H1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	T	e	54	H	保育実習I B	H1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	T	e	56	H	保育実習Ⅱ	H1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	e	55	H	保育実習指導Ⅱ	H1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
通年		LC0	0	49	E	b	65	M	子どもの食と栄養	H1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	b	55	M	障害児保育	H1T1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	71	M	国語科教育法(書写を含む。)	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	72	M	外国語科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	73	M	社会科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	74	L	算数科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	75	M	理科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	81	M	生活科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	82	M	音楽科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	83	M	図画工作科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	84	M	家庭科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	85	M	体育科教育法	T3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	37	E	c	10	M	保育内容演習(遊びと文化)	H1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		LC0	0	83	E	f	11	M	外国語(英語)演習Ⅲ		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

学年	期	ナンバリング						科目名	資格コード	①	②	③	
3	後期	LC0	0	37	E	a	22	L	教育の方法と技術	T1T3T4	○	○	○
		LC0	0	37	L	a	16	M	教育史	H1T1T3T4	○	○	○
		LC0	0	37	L	a	46	M	保育原理II	H1	○	○	○
		LC0	0	36	L	a	47	L	社会福祉II	H1	○	○	○
		LC0	0	37	L	b	03	M	教育相談(カウンセリングを含む)	T1T3T4	○	○	○
		LC0	0	41	L	b	15	L	算数	T1T3	○	○	○
		LC0	0	37	L	d	04	L	中学国語科教育法IV	T4	○	○	○
		LC0	0	81	E	d	14	M	日本語学演習	T4	○	○	○
		LC0	0	37	L	e	41	H	教育実習指導(中)	T4	○	○	○
		LC0	0	37	T	e	32	H	教育実習(小)	T3	○	○	○
		LC0	0	37	T	e	22	H	教育実習(幼・小)	T1T3	○	○	○
		LC0	0	37	T	e	13	H	教育実習(幼)I	T1	○	○	○
		LC0	0	37	E	e	02	M	教育内容演習I		○	○	○
		LC0	0	00	E	e	61	H	卒業論文演習I		○	○	○
		LC0	0	37	E	e	57	H	保育実習指導III	H1	○	○	○
		LC0	0	37	E	e	05	L	幼児保育総合演習I		○	○	○
		LC0	0	36	L	f	21	M	異文化理解論		○	○	○
4	前期	LC0	0	37	L	a	02	M	教育原理II	H1T1T3T4	○	○	○
		LC0	0	37	L	a	17	M	教育制度論	T1T3T4	○	○	○
		LC0	0	37	L	b	04	M	生徒指導論	T3T4	○	○	○
		LC0	0	37	E	b	16	M	書道	T3	○	○	○
		LC0	0	30	L	b	17	L	社会A	T3	○	○	○
		LC0	0	30	L	b	18	L	社会B	T3	○	○	○
		LC0	0	37	E	b	92	M	音楽演習III	H1	○	○	○
		LC0	0	37	L	b	29	M	体育	T1T3	○	○	○
		LC0	0	37	L	b	02	M	総合的学習の理論と方法	T3T4	○	○	○
		LC0	0	36	L	b	68	M	子ども家庭支援論	H1	○	○	○
		LC0	0	37	L	d	43	M	作文指導論	T4	○	○	○
		LC0	0	91	E	d	34	M	日本文学演習	T4	○	○	○
		LC0	0	92	L	d	47	M	漢文学	T4	○	○	○
		LC0	0	81	L	d	54	M	日本語文章論		○	○	○
		LC0	0	37	T	e	42	H	教育実習(中)	T4	○	○	○
		LC0	0	37	E	e	03	M	教育内容演習II		○	○	○
		LC0	0	00	E	e	62	H	卒業論文演習II		○	○	○
		LC0	0	37	T	e	58	H	保育実習III	H1	○	○	○
		LC0	0	37	E	e	06	M	幼児保育総合演習II		○	○	○
	通年	LC0	0	36	L	a	45	M	子ども家庭福祉II	H1	○	○	○
		LC0	0	14	E	b	06	M	臨床心理学	H1	○	○	○
		LC0	0	00	E	e	64	H	卒業論文		○	○	○
	後期	LC0	0	37	L	a	18	M	教育社会学	T1T3T4	○	○	
		LC0	0	37	L	b	05	M	進路指導論	T3T4	○	○	○
		LC0	0	37	E	b	81	M	保育・教職実践演習(幼・小・中)	H1T1T3T4	○	○	○
		LC0	0	37	E	b	56	L	保育内容総論II	H1	○	○	○
		LC0	0	37	L	d	44	M	読書指導論	T4	○	○	○
		LC0	0	90	L	d	55	M	比較文学		○	○	○
		LC0	0	36	T	e	04	H	社会活動実習		○	○	○
		LC0	0	00	E	e	63	H	卒業論文演習III		○	○	○
		LC0	0	83	E	f	12	M	外国語(英語)演習IV		○	○	○

〈児童教育学学科〉カリキュラムシリーズ

（1）*印の科目はいづれかの学年で履修できる。

(2) 科目名に記載の①②③または④⑤⑥

(3) 科目名が太字：必修科目、資格関連科目については、教免必修科目▲、中免必修科目◆、小免必修科目○、小免選択科目●、免選科目□、幼免選択科目○、保育士必修科目★

ツリーの見方

兒童教育學部

兒童教育學科

4. 免許・資格

(1) 教員免許状

[1] 児童教育学部児童教育学科で教員免許状授与の所要資格を取得できる免許状は次のとおりです。

学 科	免 訸 状 の 種 類
児童教育学科	中学校教諭一種免許状(国語) 小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状

[2] 教員免許状を取得するためには、大学を卒業し(学士の学位を有し)、「教育職員免許法及び同法施規則」に定められた科目を履修し、所定の単位数を修得しなければなりません。

- 1) 免許状の種類にかかわらず「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」について、それぞれ2単位以上を修得しなければなりません。
(64ページ、表1)
- 2) 法により免許状の種類ごとに「教科及び教職に関する科目」の最低修得単位数がそれぞれ規定されています。(下表)

免 許 状 の 種 類	基 础 資 格	「教科及び教職に関する科目」の最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	28		27	4
小学校教諭一種免許状		30		27	2
幼稚園教諭一種免許状			16	21	14

(注) この表で示しているのは、法規上の最低修得単位数です。本学で必要とする単位数はP.65以降の各表に示しております。

免許状の種類ごとの履修方法を、中学校・小学校・幼稚園(表2-1～2-7)に載せておりますので、それに基づいて必要な科目及び単位数を修得してください。

[3] その他

- 1) 教育実習の履修について

教育実習の単位修得には、「学校現場における実習」(中学校4単位、小学校4単位、幼稚園4単位)と「事前及び事後の指導」(1単位)が必要です。

事前及び事後の指導の授業科目として、「教育実習指導」を開講しています。その授業内容は次のとおりです。

1. 事前指導

- (1) オリエンテーション

- (2)教育実習の心得
- (3)教科指導能力の向上
- (4)生徒指導能力の向上

2. 事後指導

- (1)実習記録の整理、報告書作成指導(実習終了後1週間以内)
- (2)教育実習報告会での反省と自己評価

教育実習校の決定にあたっては、学科の指導に従ってください。なお実習校決定後はその変更はできません。また成績が著しく不振な場合は、実習が認められないことがあります。

実習にあたっては、本学及び実習校の指示に従わなくてはなりません。もしもその指示に反した場合には、実習を中止させられることがあります。教育実習を履修する学生は、教育実習にかかる経費が必要となります。

2)教員免許状の授与申請について

1. 介護等の体験

中学校・小学校の教員免許状の授与を受けようとする者は、特別支援学校及び社会福祉施設等その他文部科学省令で定められた施設において7日以上の障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者のとの交流等の体験を行い、その証明書が必要です。

介護等の体験を希望する者は、体験の事前指導を受けるとともに、介護等の体験にかかる経費が必要となります。

2. 申請手続

教員免許状は、本学で一括して申請し、卒業式当日に渡します。それに必要な諸経費を所定の期間内に納めなくてはなりません。

〔教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目〕

(表1)

免許法施行規則第66条の6に定める科目区分		本学における開設科目	単位数	授業形態	週 時 間 数								
科 目	最低修得単位数				1 年	2 年	3 年	4 年	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期
日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	講義		2	2						
体育	2	○ スポーツ1 ○ スポーツ2	1 1	実技 実技	2 2	2 2							
外国語コミュニケーション	2	○ Basic English 1 ○ Basic English 2 ○ 総合英語A-1 ○ 総合英語A-2	1 1 1 1	演習 演習 演習 演習	2 2 2 2								
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	○ 情報処理演習1 ○ 情報処理演習2	1 1	演習 演習	2 2								
備考	1. ○印は、卒業必修科目 2. ○印は、免許必修科目												

中一種免（国語）【教科及び教科の指導法に関する科目】

児童教育学科
(表2-1)

免許法施行規則に定める科目区分等		中学校教諭一種免許状				
科 目	最低修得単位数	本学における開設科目	単位数		配当学年	備 考
			必	選		
国 語 学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1 単位以上	日本語学概論(日本語音声学を含む)	2		1年前	
		日本語学研究		2	2年後	
		日本語学講義	2		3年前	
		日本語学演習		2	3年後	
		日本語史	2		2年前	
		日本語文法論		2	3年前	
		日本語表現法 1	1		1年前	
		日本語表現法 2	1		1年後	
		作文指導論		2	4年前	
		読書指導論		2	4年後	
国 文 学 (国文学史を含む。)	1 単位以上	日本文学概論	2		1年前	
		日本文学史 I	2		1年後	
		日本文学史 II	2		2年前	
		(日本の文学 I (日本の文学 II)		2	2年後	いずれかの科目を選択必修
		日本文学演習		2	3年前	
漢 文 学	1 単位以上	漢字表現 漢文学	2		2年後 4年前	
書道(書写を中心とする。)	1 単位以上	書道(書写を中心とする)	2		1年後	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	1 単位以上	中学国語科教育法 I	2		2年前	
		中学国語科教育法 II	2		2年後	
		中学国語科教育法 III	2		3年前	
		中学国語科教育法 IV	2		3年後	
合 計		必修を含めて 28 単位以上修得すること				

* 下線の引かれた授業科目は、一般的包括的な内容を含む科目です。

教員免許状
(教科、教科又は教職)

中一種免（国語）〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

児童教育学科
(表2-2)

免許法施行規則に定める科目区分等			中学校教諭一種免許状				
科 目	各科目に含める必要事項	最 低 修 得 単 位 数	本学における開設科目	単位数		配 当 学 年	備 考
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理Ⅰ	2	1年前		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教育原理Ⅱ	2	4年前		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育史	2	3年後		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教師論	2	2年前		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教職入門	2	1年後		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		(教育制度論 教育社会学)	2	4年前 4年後	いずれかの科目を選択必修	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	教育心理学	2	2年前		
	総合的な学習の時間の指導法		特別支援教育論	2	2年後		
	特別活動の指導法		教育課程論	2	3年前		
	教育の方法及び技術		道徳教育の理論と方法	2	2年後		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		総合的学習の理論と方法	2	4年前		
	生徒指導の理論及び方法		特別活動の理論と方法	2	2年後		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育の方法と技術	1	3年後		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		ICT活用の理論と方法	1	2年後		
教育実践に関する科目	教育実習	5	生徒指導論	2	4年前		
	教職実践演習	2	教育相談 (カウンセリングを含む)	2	3年後		
			進路指導論	2	4年後		

〔大学が独自に設定する科目〕

児童教育学科

最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、合わせて4単位以上を修得してください。

小一種免 [教科及び教科の指導法に関する科目]

児童教育学科
(表2-3)

免許法施行規則に定める科目区分等			小学校教諭一種免許状				
科 目	各科目に含める必要事項	最 低 修 得 単 位 数	本学における開設科目	単位数		配 当 学 年	備 考
				必	選		
教科に関する専門事項	国 語(書写を含む。)	3 0	国語 書道	2 1		2年前 4年前	
	社 会		(社会A 社会B		2 2	4年前 4年前	いずれかの科目を選択必修
	算 数		算数	2		3年後	
	理 科		(理科A 理科B 理科C		2 1 1	1年後 2年前 2年後	いずれかの科目を2単位以上選択必修
	生 活		生活	2		1年後	
	音 楽		(音楽演習I 音楽演習II		2 2	1年通 2年通	いずれかの科目を選択必修
	図画工作		基礎造形	2		1年通	
	家 庭		家庭	2		3年前	
	体 育		(体育 体育演習		2 2	4年前 2年通	いずれかの科目を選択必修
	外 国 語		外国語(英語)演習I 外国語(英語)演習II	2 2		1年通 2年通	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国 語(書写を含む。)		国語科教育法(書写を含む。)	2		3年通	
	社 会		社会科教育法	2		3年通	
	算 数		算数科教育法	2		3年通	
	理 科		理科教育法	2		3年通	
	生 活		生活科教育法	2		3年通	
	音 楽		音楽科教育法	2		3年通	
	図画工作		図画工作科教育法	2		3年通	
	家 庭		家庭科教育法	2		3年通	
	体 育		体育科教育法	2		3年通	
	外 国 語		外国語科教育法	2		3年通	

教員
(教科、教科又は教職)

小一種免 [教育の基礎的理解に関する科目等]

児童教育学科
(表2-4)

免許法施行規則に定める科目区分等			小学校教諭一種免許状				備考	
科 目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数	本学における開設科目	単位数		配当学年		
				必	選			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 I	2		1年前		
	教育原理 II		2		4年前			
	教育史		2		3年後			
	教師論		2		2年前			
	教職入門		2		1年後			
	(教育制度論 教育社会学)		2	2	4年前 4年後	いずれかの科目を選択必修		
	教育心理学		2		2年前			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別支援教育論	10	特別支援教育論	2		2年後		
	教育課程論		2		3年前			
	道徳の理論及び指導法		道徳教育の理論と方法	2		2年後		
	総合的な学習の時間の指導法		総合的学習の理論と方法	2		4年前		
	特別活動の指導法		特別活動の理論と方法	2		2年後		
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		3年後		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と方法	1		2年後		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2		4年前		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む)	2		3年後		
教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	5	進路指導論	2		4年後		
	教育実習		教育実習(小) 教育実習指導(小)	4 1		3年後 3年前	小中履修モデル	
	教職実践演習		教育実習(幼・小) 教育実習指導(幼・小)	4 1		3年後 3年前	小幼履修モデル	
		2	保育・教職実践演習(幼・小・中)	2		4年後		

[大学が独自に設定する科目]

児童教育学科

最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、合わせて2単位以上を修得してください。

幼一種免 [領域及び保育内容の指導法に関する科目]

児童教育学科
(表2-5)

免許法施行規則に定める科目区分等			幼稚園教諭一種免許状					
科 目	各科目に含める必要事項	最 低 修 得 単 位 数	本学における開設科目	単位数		配 当 学 年	備 考	
				必	選			
領域に関する専門的事項	健康	16	幼児と健康	1		1年後		
	人間関係		幼児と人間関係	1		1年後		
	環境		幼児と環境	1		1年後		
	言葉		幼児と言葉	1		1年後		
	表現		幼児と表現	1		1年後		
保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論 I		保育内容総論 I	1		1年前		
	保育内容演習(健康) I		保育内容演習(健康) I	1		2年前		
	保育内容演習(健康) II		保育内容演習(健康) II	1		2年後		
	保育内容演習(人間関係) I		保育内容演習(人間関係) I	1		2年前		
	保育内容演習(人間関係) II		保育内容演習(人間関係) II	1		2年後		
	保育内容演習(言葉) I		保育内容演習(言葉) I	1		2年前		
	保育内容演習(言葉) II		保育内容演習(言葉) II	1		2年後		
	保育内容演習(環境) I		保育内容演習(環境) I	1		2年前		
	保育内容演習(環境) II		保育内容演習(環境) II	1		2年後		
	保育内容演習(表現) A I		保育内容演習(表現) A I	1		2年前		
	保育内容演習(表現) A II		保育内容演習(表現) A II	1		2年後		
	保育内容演習(表現) B I		保育内容演習(表現) B I	1		2年前		
	保育内容演習(表現) B II		保育内容演習(表現) B II	1		2年後		

教員免許状
(教科、教科又は教職)

幼一種免(教育の基礎的理解に関する科目等)

児童教育学科
(表2-6)

免許法施行規則に定める科目区分等			幼稚園教諭一種免許状				
科 目	各科目に含める必要事項	最 低 修 得 単位数	本学における開設科目	単位数		配 当 学 年	備 考
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 I	2		1年前	
	教育の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教育原理 II	2		4年前	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育史	2		3年後	
	教育の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教師論	2		2年前	
	教育の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1年後	
	教育の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		(教育制度論 教育社会学)	2	2	4年前 4年後	いずれかの科目を選択必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育心理学	2		2年前	
	幼児理解の理論及び方法		特別支援教育論	2		2年後	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育課程論	2		3年前	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育の方法と技術	1		3年後	
	教育実習		幼児理解の理論と方法	2		2年通	
	教育実習		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3年後	
	教育実習		教育実習(幼) I 教育実習指導(幼) I	4 1		3年後 3年前	幼保履修モデル
	教職実践演習	2	教育実習(幼・小) 教育実習指導(幼・小)	4 1		3年後 3年前	小幼履修モデル
			教育実習(幼) II 教育実習指導(幼) II		2 1	3年前 2年後	小・幼両方の免許を希望する場合は履修が必要
			保育・教職実践演習(幼・小・中)	2		4年後	

幼一種免(大学が独自に設定する科目)児童教育学科

(表2-7)

免許法施行規則に定める科目区分等		幼稚園教諭一種免許状		
科 目	本学における開設科目	単位数		配当学年
		必	選	
大学が独自に設定する科目	保育の心理学	2		1年前
	子どもの理解と援助	1		3年前
	障害児保育	2		3年通
	保育内容の理解と方法(言語表現)	2		1年通
	基礎造形	2		1年通
	国語	2		2年前
	算数	2		3年後
	生活	2		1年後
	体育	2		4年前
備 考	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、合わせて14単位以上を修得すること。			

教員免許状
(教科、教科又は教職)

2-1.保育士資格

保育士資格について

児童教育学科では、児童福祉法に定められた保育士の資格を取得することができます。保育士とは、登録センターに登録をし、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者を指します。

保育士資格に必要な科目・単位数は大きく教養科目と指定科目に分けられます。

1)教養科目 11単位以上

全学共通科目のうち保育士資格の教養科目として指定されている科目(総合英語A-1、総合英語A-2の2単位、情報処理演習1・2の2単位、健康科学2単位、スポーツ1・2から1単位)を含んで、11単位以上を履修しなければなりません。

2)指定科目 74単位以上(P.73)

3)保育実習について

保育所保育を体験的に深く学ぶと共に、福祉施設における多様な保育が実践できる力を養うため、指定科目にあるすべての保育実習を必修(ただし、保育実習Ⅲは選択)としています。保育実習を履修する学生は、所定の単位を修得し、実習費用を納めなければなりません。

実習の種類	単位数	おおむねの実習日数	実習施設
保育実習ⅠA	2単位	10日間	A
保育実習ⅠB	2単位	10日間	B
保育実習指導ⅠA	1単位	—	—
保育実習指導ⅠB	1単位	—	—
保育実習Ⅱ	2単位	10日間	A
保育実習指導Ⅱ	1単位	—	—
保育実習Ⅲ	2単位	10日間	B
保育実習指導Ⅲ	1単位	—	—

*実習施設

A:保育所、幼保連携型認定こども園

B:乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害

児入所施設、児童発達支援センター、障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所

保育士の資格を取得するための開設科目

(1) 教養科目11単位以上

教養科目	外国語科目	講義 実技	2単位以上	計11単位以上 ※建学のこころを除く
	体育・健康科目		2単位	
	外国語科目、体育・健康科目以外の教養科目		1単位以上 6単位以上	

(単位の修得方法等は、全学共通科目の表を参照)

(2) 指定科目74単位以上

系 列	開 設 科 目	授業形態	保育士資格取得に必要な修得単位数		配当学年	備考
			必 修	選 択		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理 I	講義	2		1年前	選択科目から9単位以上
	保育原理 II	講義		2	3年後	
	教育原理 I	講義	2		1年前	
	教育原理 II	講義		2	4年前	
	子ども家庭福祉 I	講義	2		2年後	
	子ども家庭福祉 II	演習		2	4年通	
	社会福祉 I	講義	2		3年前	
	社会福祉 II	講義		2	3年後	
	子ども家庭支援論	講義	2		4年前	
	社会的養護 I	講義	2		1年後	
	教師論	講義	2		2年前	
	教育史	講義		2	3年後	
保育の対象の理解に関する科目	特別支援教育論	講義		2	2年後	
	保育的心理学	講義	2		1年前	
	子ども家庭支援の心理学	講義	2		1年後	
	子どもの理解と援助	演習	1		3年前	
	子どもの保健	講義	2		1年前	
	子どもの食と栄養	演習	2		3年通	
	教育心理学	講義		2	2年前	
	幼児理解の理論と方法	演習		2	2年通	
保育の内容・方法に関する科目	臨床心理学	演習		2	4年通	
	保育の計画と評価	講義	2		3年前	
	保育内容総論 I	演習	1		1年前	
	保育内容総論 II	演習		1	4年後	
	保育内容演習(健康) I	演習	1		2年前	
	保育内容演習(健康) II	演習	1		2年後	
	保育内容演習(人間関係) I	演習	1		2年前	
	保育内容演習(人間関係) II	演習	1		2年後	
	保育内容演習(環境) I	演習	1		2年前	
	保育内容演習(環境) II	演習	1		2年後	
	保育内容演習(言葉) I	演習	1		2年前	
	保育内容演習(言葉) II	演習	1		2年後	
	保育内容演習(表現) A I	演習	1		2年前	
	保育内容演習(表現) A II	演習	1		2年後	
	保育内容演習(表現) B I	演習	1		2年前	
	保育内容演習(表現) B II	演習	1		2年後	

保育士

系 列	開 設 科 目	授業 形態	保育士資格取得に必要な 修得単位数		配当学年	備 考
			必 修	選 択		
保育の内容・方法 に 関 す る 科 目	音 楽 演 習 III	演習		1	4年前	選 択 科 目 か ら 9 単 位 以 上
	造 形 演 習	演習		1	3年前	
	乳 児 保 育 I	講義	2		2年前	
	乳 児 保 育 II	演習	1		2年後	
	子ども の 健 康 と 安 全	演習	1		2年前	
	障 害 児 保 育	演習	2		3年通	
	社 会 的 養 護 II	演習	1		2年前	
	子 育 て 支 援	演習	1		3年前	
	保育内容演習(遊びと文化)	演習		2	3年通	
保 育 実 習	保 育 実 習 I A	実習	2		3年前	
	保 育 実 習 I B	実習	2		3年前	
	保 育 実 習 II	実習	2		3年前	
	保 育 実 習 指 導 I A	演習	1		2年前	
	保 育 実 習 指 導 I B	演習	1		2年後	
	保 育 実 習 指 導 II	演習	1		3年前	
	保 育 実 習 III	実習		2	4年前	
	保 育 実 習 指 導 III	演習		1	3年後	
総 合 演 習	保育・教職実践演習(幼・小・中)	演習	2		4年後	
合 計			65	28		

